大正九年十月二十八日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　七月五日

發行所 新京日日新聞社　電話三二一五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介
本紙 一部五錢 一ヶ月一圓
定價 廣告 普通一行 一圓三十錢
特別 同 二圓五十錢

北支は支那の領域と區別 特殊的取扱の要あり
日支本格的提携工作に對する帝國政府根本方針

【東京國通】「新生」問題も近く解決せんとしてゐるので外務省では同問題の解決を契機として日支間を本然の友好關係に復歸せしめ本格的提携工作に進むべく過般來その具體案につき研究中であつたが、此程大綱の作成を終へたので愈々來週早々より東亞、通商兩局の聯合協議會を開き右原案を基礎として討議を進め、更に陸軍當局とも協議を遂げた上帝國政府の對支根本方策を確立することゝなつた、而して帝國政府の根本方針は過般の聲明の主旨に基き

一、北支は滿洲國との接壤地域で滿洲國の存立に重大影響あるから他の支那の領域と區別して政治的、經濟的に特殊的取扱を求める要あり
一、特に北支より反滿分子の驅逐を求め政治的、經濟的提携を强化す
二、日本の眞意は內政干涉に非ず、單に日支親善の障害と滿洲國に對する脅威を除去するにあるとの立場より政治、文化、經濟の全面的提携を促進する

にあるものと觀られる

經濟工作準備進む

【東京國通】北支事件の一段落により將來の北支の問題は滿洲國との緩衝地區としての治安維持、經濟開發の二點より日本及び滿洲國に於ては外務省、關東軍、滿鐵の協力によつて夫々具體案を考究中である、經濟開發に關する具體案の第一骨子は當分工作を北支に局限して漸進的に南方に及ぼし日滿支の協力によつて目的を達成に努めんとするものである

一、商工農鑛各般に亘つて開發に努む
一、支那側の相手當事者は政府と民間を問はず

と言ふにあり支那側に於てもかかる企圖に早くも參加せんと事情を照會して來るものがありまた日本內地にあつて三井、三菱等財閥の後援もあり大いに意氣込んでゐるが右のうち先づ第一に着手するのは交通網の整備で就中滿洲事變前より計畫のあつた鐵道敷設政策を以て進まんとする點は頗る注目されてゐる

北支の更生には先づ經濟開發
企圖される開發會社の概貌

北支の各種事件何れも一先づ解決を告げたのを機會に同地方有力者間には從來暗黒政治によつて正常な發展を阻まれてゐた經濟の開發こそ北支の更生に絕對不可缺なものなりとの論期せずして起り漸次具體化しつつあるは注目されてゐる、その具體的內容については目下各關係者間に於て寄々協議され各種の計畫が爼上にのぼつてゐるが、仄聞するに大要左の如き內容を有する北支經濟開發會社設立計畫が有力である

一、北支日滿支合辦の經濟開發會社を設立しこれを親會社とし炭鑛、鐵鑛、棉花、銀行、交通、貿易等各資源業種別に子會社を設立する
一、資金關係は滿洲國政府、滿鐵、東拓、大倉其他日本內地の有力財閥、支那側[illegible]
一、銀行は目下同地の[illegible]幣の爲賣り物に出てゐる數行（中に發券銀行あり）を買收一般銀行業務の外獨自の通貨を發行同地方の金融制度を確立する
一、交通は目下整備を急がれてゐる察哈爾綏遠地方の交通網の整備を主とし同地方の發展に資す
一、貿易は同地方住民の希望する天津の自由港實現の曉日滿支間の貿易增進に資せしめる
一、鐵鑛、炭鑛、棉花は同地方の主要資源とてその開發工作は刮目せられる

大綱以上の如く疲弊の極にある同地方の經濟的更生開發は期して待つべきものがあらう

汪精衞を中心に重要會談す

【上海四日發國通】外交部長唐有壬氏は雜誌「新生」の不敬事件につき汪精衞氏の代理として去る二日有吉大使と會見し日本側の申入れを聞き直ちに病臥中の汪精衞氏に傳達[illegible]する所あつたが、三日午後南京より急遽來滬せる湖北省主席張群、福建省主席陳儀、浙江省主席黃紹雄氏等と會合三時間に亘つて重要協議をなしたる後、會議の意向をもたらして午後十一時南京に赴いた、右會議に於て唐有壬氏より日本側申入れの主旨と汪精衞氏の意向を說明し愼重討議の結果、左の如き處置を骨子とする數項を回答案中に含める事につき中央黨部を說得する事になつたと仄聞する

一、中央黨部宣傳部長葉楚傖の更迭
一、雜誌「新生」責任者及不敬記事執筆者の嚴罰
一、將來の保證

汪氏は膽石病

【上海四日發國通】當地ドイツ人病院に入院中の汪精衞氏の病氣は膽石病にて急速には回復困難と傳へられて居るが國民政府は行政委員長の職を孔祥熙氏に、外交部長の職務を外交部次長二名に代行を命じた

有吉大使の抗議で俄然色めいた上海
要人續々と參集凝議

【上海四日發國通】「新生」の不敬事件に關し去る二日有吉大使よりの嚴重なる抗議を受けた當局はざわめき立ち要人多數上海に乘込み、目下病臥中の汪精衞氏を中心に凝議しつゝあり今明日中に來滬する孔祥熙、陳公傳、[illegible]民誼、徐謨、陳樹人等の來京を待ち當地に於て要人會議を開き、不敬事件に對する最後的決定を行ふものと見らる

蔣作賓大使 愈々歸國の途へ

【東京國通】駐日支那大使蔣作賓氏は本國政府の訓令により歸國することとなり過般來廣田外相をはじめ岡田首相、高橋藏相、林陸相等と會見して日本政府の對支政策を打診してゐたが大體意見交換を終了したので五日橫濱出帆のプレヂデント、グラント號で歸國の途に就くが同大使は歸國後蔣介石氏をはじめ國民政府要人と會見して日本政府の對支見解を傳達し今後の對日方針に就て重要進言をなす筈で過般の廣田外相との會見で日支關係を恒久的に調整すべく具體案に就き相互に研究することに意見一致をみてゐるので同大使の歸朝後問題は何等かの形式で具體化するべく頗る注目されてゐる

趙民政部次長 辭意を洩らす
後任は金榮桂氏か

民政部次長趙鵬第氏は豫て辭意を洩らしてゐたが、最近呂民政部大臣を通じ國務總理大臣宛正式に辭意を表明するところあり呂大臣の慰留に對しても依然辭意固く趙次長の辭任は近く實現するものとみられてゐるなほ後任次長には現ハルビン警察廳長金榮桂氏が有力視されてゐる

日滿共同經濟委員會 十四、五日頃調印
調印と同時に協定案全文公表

（東京國通）日滿共同經濟委員會協定は十四、五日頃新京に於て調印する豫定であるが、右調印と同時に日本外務省では協定案全文を公表し、且つ日滿兩國が政治的に不可分關係あり、更に經濟提携の緊密關係を確保するに至つた主旨を聲明する筈である

八田滿鐵副總裁 五日歸任、語る

【大連國通】總會出席のため上京中の滿鐵八田副總裁、山西理事は五日午前八時大連入港の熱河丸で歸任したが、船中次の如く語つた

總會終了後大阪、德山、宇部に立寄つて石炭液化試驗マグネシューム工場を見て來た、株主總會は豫期の通り平凡に何の波瀾もなく濟んだ、尤も前に二日位株主代表と會つて滿鐵の業態を報告し諒解を求めて置いた、最近滿鐵の增資問題が傳はつてゐるやうだが、このところ左樣な事實は全然ない、將來の資金調達方法は會社に於て研究の上中央に出さなければならない

現在の資金調達狀況は必ずしも變化があるとは言へないが、滿洲の產業開發が軌道に乘り各種同業が資金を要する時期に到着し內地事業界も同樣の狀態にあるので資金を內地に求めることが多くなり樂には行かないことは事實だ、然し滿鐵は近く三千萬圓の社債を發行するが前と同樣の條件でシンヂケート側も盡力することになつてゐる、競賣問題は日鐵が參加しないことになつた、今後は專ら東京の社で色々折衝することになつてゐるが、日鐵側との協議は依然不便を來たさぬやう又日滿產業の衝突を生ぜぬやう努力する筈だ、北支問題、滿鐵改造問題等には一切觸れなかつた

金融統制に
中央銀行一路邁進

滿洲中央銀行は去る六月末日を以て舊紙幣の回收を終り幣制統一を名實ともに完了、下半期より愈々全滿各地の普通銀行を從へて中央銀行としての金融統制に一段の發展が期待されてゐる、目下同行に於ては上半期總會に提出する書類を調整し各種の準備を進めてゐるが同行上半期の業績を見るに極めて順調なる推移を見せてゐる、即ち國勢の伸張と諸產業の勃興とに伴ひ漸次業務の[illegible]を行ひ前期中に九ヶ所、本期中に二ヶ所の辦事所を新設し現在の營業所は百三十六である、その他主なる業績を個別的に見ると左の如くである

預金貸出狀況

各種預金は漸次增加し既に五月末に於ては昨年十二月末に比し三千四百三十餘圓を增加して一億三千五百七十餘萬圓を示し特に口數の增加は顯著なるものありて利用者の漸增を物語つてゐる、又貸出は特產相場の昂騰と土地並びに各種建設的事業の盛況につれて著しく增加し三月末に於て一億七千三百餘萬圓に[illegible]特產の搬出に伴ひ漸次減少してゐる

紙幣發行高

特產市場の需要期に面し漸增し一月二十六日には一億七千三百八十萬餘圓といふ開業以來の最高記錄を示し爾後漸次縮少して六月二十八日は一億一千三百二十餘萬圓を示した
然して上半期中の最低は六月十九日の一億千五十八萬餘圓であるが右は前期の最低に比し一千二百七十三萬餘圓の增加である、又正貨準備は最近五割三分外を保管してゐる、鑄貨の發行高は六月末に於て二千二十八萬餘圓で全國に汎く普及し今日に於ては鑄貨不足の聲を聞かなくなつた

舊紙幣の回收情況

舊幣の整理回收は六月を以て引換期間を終り目下整理中であるが豫期以上の好成績を示し引繼額一億四千二百餘萬圓に對し既に五月末に於て一億三千七百三十九萬餘圓九六、六％に達してゐる

爲替關係

國內支店網の整備と共に海外爲替取扱先銀行も前記十一行百八店より今期末は十二行百廿三店に增加し、內外爲替取組は何れも漸次累增の一途をたどりつゝある

庶民金融國庫取扱

其他各地農耕貸款、商工貸款、金融合作社及當舖への融資等により庶民金融に盡し、國庫金取扱も日を追ふて增加してゐる

滿鐵辭令

【大連國通】＝滿鐵辭令＝
鐵道部工作課鐵械係主任 技師 石尾茂
命中央試驗所車輛研究課長
中央試驗所車輛研究室主任 技術員 [illegible]三
命滿洲關東研究室主任
中央試驗所 [illegible]川[illegible]
命一般車輛研究室主任
鐵道部工作課技術員 一條鞏太郎
命機械係主任

林滿鐵總裁 首相訪問

【東京國通】滯京中の滿鐵總裁林博太郎氏は十日に歸任するので、五日午前九時四十五分岡田首相を首相官邸に訪問し歸任の挨拶をなすと同時に今後の經營方針を打合せて辭去した

その日〲

□北支を支那の領域から區分して特殊地帶取扱ひの案、紛爭除去にはこれ以上の名案なし
□尼港事件以來の損害救恤、いよいよ外務省で事務開始、この國の持つ誇り
□羽左來る！、この時とばかり羽左を利用自己宣傳にテコヘンな歡迎陣を張るものがある
□けふ七月五日、親指大の雹降る、この點のみ如何にも滿洲らしい感じ
□愛人を呼び寄せ樂しく死んでゆかうとした男あり、氣出ひ陽氣の關係か

人事往來

▲市村勇氏（俳優）四日午後來京國都ホテル投宿
▲市村雪子氏（妻）同
▲市村寅太郎氏（俳優）同
▲市村いそ子氏（妻）同
▲片岡芦燕氏（俳優）同
▲片岡義直氏（同）同
▲濱田喜美代氏（同）同
▲松尾國三氏（富士興行專務）同
▲山內源作氏（滿洲靈廟建立會幹事）同
▲西野哲太郎氏（染料商）同
▲土居伊右衛門氏（材木會社員）同
▲清水潔氏（淸水土地株式會社）同
▲石坂英雄氏（電業公司）同
▲土方廉之助氏（日本電氣會社員）同
▲安藤麟之氏（陸軍大佐）四日午前發哈市へ
▲木村正道氏（滿鐵消費組合）同大連へ
▲小島未次郎氏（福昌公司員）同午後發哈市へ
▲藤田繁氏（ハビルン電業員）同
▲秋貞実造氏（京都帝大文學部）同
▲西野哲太郎氏（染料商）五日午前發奉天へ
▲小島源作氏（名古屋新聞記者）四日午後來京名古屋ホテル投宿
▲藤武久男氏（ハルビン工業大學秘書長）同
▲蜂谷輝雄氏（駐英大使館一等書記官）同
▲矢田七太郎氏（滿洲國參議）四日午後歸京
▲佐藤義胤氏（鐵道建設局員）五日午前發大連へ
▲藤田庸一氏（東京旭ガラス會社員）同
▲橫山憲三氏（關東局事務官）同
▲淸水如水氏（大阪藥劑師）四日午後來京ヤマトホテル投宿、五日午前發吉林へ
▲山中繁雄氏（大連會社員）同
▲田邊義明氏（同）同
▲谷川完吾氏（京城會社員）四日午後來京ヤマトホテル投宿
▲小高親氏（神戶帝國[illegible]會社重役）五日午前發奉天へ
▲遠藤茂氏（宮崎高等農林學校教授）同ハルビンへ

誤解された純情　若水絹子作
56 接吻（三）

かう言つてゐる藤田氏の言葉は、だん〲激しい情熱に燃え出してきた。そして、彼の大きい手は、いつの間にか、球惠のか細い肩を、後からぐつと抱きしめるやうにしてゐた。

球惠は、ハッと氣がついて、

『あら、不可ませんわ！』

と、云つて、その手を振り拂はうとすると、

『私は、貴女が好きで堪らんのだ。貴女を幸福にするためにはどんな事でもして上げる……だから、私を信用して貰ひたい。信用して……』

と、藤田氏は、球惠の耳近く口をよせるやうにして、運轉手に憚るやうに、力強い聲でかう鸚返した。

球惠は、身體中が燃えるやうに熱くなつてゐた。彼女は、藤田氏を必ずしも好きではなかつたが、しかし戀愛的な意味では、かれの男性的な強い腕は、彼女が生れて初めて、自身の肉體に直接に感じたところの、男性の肉體であつた。

その強い力と情熱とが、彼女の神經を惑亂させた。

『私は、貴女を愛して居るのだ！愛してゐるのだ……恐らく、貴女を愛すことに於いては、誰にも負けんつもりだ……』

と、藤田氏は繰返した。そして、球惠を、ぐつと引き寄せやうとすると、かの女の横顏に、彼の厚い唇を持つて行かうとした。

『あ、いけません！』

と、聲を立てゝ、球惠は、顏をそむけてしまつた。球惠の烈しい拒絕に會ふと、藤田氏は、急に我にかへつたやうに球惠を抱へてゐた腕を引くと、[illegible]つて彼女の顏を見詰めてゐた。そして、

『なるほど、貴女は私をあまり好いて居らんと見える……それでは、どうも止を得ん！すまなかつた、すまなかつた……』

かう云つて、素直に球惠の傍から離れるやうにした。そして、

『惡かつた！宥して下さい……つひ貴女を無性に好きであつたものだから、こんな事をしてしまつた……何とも、すまん！』

と、心から詫てゐるやうに、云つた。

球惠は、藤田氏にそむけた顏を、冷めたい硝子窓にあてゝしく〲泣いてゐた。同時に、藤田氏の腕が、彼女の肩から離れた時から、彼女は、何だか自分の身體を——否、心まで支へてゐて呉れた強い柱が、急に外れたやうな寂しさを感じた。

『……どうも、私は不可ん！時々こんな失敗をやつて困る。しかし、貴女を好きの事だけは、どうもできぬ。ほんとうに好きなんだ……冗談や、からかひごとではないから、惡く取らないで貰ひたい』

と、頻りに、藤田氏は辯解らしくかう云つた。さうした藤田氏の態度を見てゐると、球惠は何となく申譯のない事をしたやうな氣がしたが、さうかと云つて、藤田氏に、接吻を許すことはできなかつた。

球惠は、無言で頷いて見せた。

『海川さん。こんな事のために貴女が會社を止したりすると、私は氣持ちが惡いが、どうか、惡く取らんで貰ひたい』

と、藤田氏は、なほも辯解して云つた。

手紙で呼び寄せ 朝鮮人三人心中
厭世の女一人に男二人！ けさ城内満人旅館で

五日午前七時頃新京特別市西五馬路春陽旅舍に止宿の本籍平壤府生れ奉天西塔大街三丁目朴永鍵こと朱弘根（二三）朝鮮平北生れ現住所營口朝鮮民會長劉龍基長男劉仁健（二一）本籍平壤府生れ寬城子二面街三朝鮮料理店金泉館抱酌婦玉姫事金福女（二〇）の三名が六號室にて三人枕を並べ 阿片を嚥下し苦悶中を帳場が發見直ちに北門外派出所に届け出で三人を滿鐵醫院に擔ぎ込み應急手當を加へた結果今のところ生命には別條ない模樣である、原因について調べて見ると朱金とは同じ平壤生れで金が絶世の美人なるところより朱はすつかりほれ込み二世を誓つてゐたが金は新京富士町大和館に鞍替へして來京したので朱も間もなくあとを追つて來京漢城旅館の客引となり逢瀬を樂しんでゐたがとかく金に窮するところから職を求めて奉天に到り前記場所で洗濯屋の外交とか旅館の客引をしてまた逢ふ日を待つてゐたその中金は本年二月頃五百五十圓で寬城子の金泉館に鞍替へしたが面白くなくいつ朱と晴れて夫婦になれるやら判らないので數日前「自分は死にたくなつたから是非一度來て貰ひたい、この世の見收めに二人で出來るだけ面白いことをして死なうではないか」と 手紙 で朱を呼び寄せるべく誘ひをかけた、ところが偶ま營口朝鮮民會長劉龍基の長男劉仁健といふ男が折合惡く六月二十一日頃家出して奉天に來て遊んでゐる中に所持の金はなくなり職はなく一つそ死なうとブラ／＼歩いてゐる裡朱と出會し事情を述べたところ「それぢや一緒に新京へ行から俺も新京へ行つて死ぬんだ、どうせ死ぬなら一緒に面白く死なうではないか」と劉を誘つて來京前記春陽旅舍に投宿劉は支那語に通じてゐるところより支那人阿片屋から阿片を買ひ求め支那酒に混ぜて三人で分配嚥下したものである

病を厭ひ 豫備上等兵自殺

五日午前五時頃新京驛發南行第三七二列車の機關士が興安橋踏切に轢死体あるを發見、南新京驛員と共に其旨新京署に報告したので署より係官急行現場の檢證を行つたところ頭を北に原形なきまでに粉砕無惨の即死を遂げてゐた身元については興安橋の橋脚に軍隊手帳と深町醫院の藥袋、三錢切手を貼つた封筒など結びつけてあつたところより覺悟の自殺と見られてゐる取調べの結果本人は岡山縣川上郡湯野村大字西山二四五戸主秀三郎二男廣瀨瀧夫（二六）と判明したが同人は豫備陸軍步兵上等兵で滿洲にて滿期後職を求めてゐたが結核の三期で到底生き永へること不可能なるところより死を決したものらしい、署では取敢へず郷里に照會すると共に死体は一先ず衛生隊に引渡した

夜店のスリ捕はる

四日午後九時三十分頃新京署警備班矢上巡査が市内吉野町二丁目附近を警戒中本籍朝鮮忠清南道生れ現住所軍用路西街一號會社員李永旗氏（三七）が手帳を掏摸れたとの届出に早速窃疑者を吉野町夜店で引捕へ本署に引致司法係井上刑事が嚴重取調べると原籍山東省生れ住所不定無職孫表命（二二）で孫は夜店の雜閙にもまれて毎夜の如く掏摸を働いてゐたこと自白懷中には掏摸とつた金三十七圓五十錢彩票一枚、國幣三圓萬年筆一本を所持してゐた

窓硝子も破れる 珍らしい雹降る
この氣狂ひ天氣は數日續く

きのふの驟雨をうけてけふも朝から曇つたり照つたり午後零時廿八分にまたもや風とゝもに大聚雨を齎らし忽ち市街は濁水で押し流され同三十分には近年にない親指大の雹は窓硝子、屋根瓦も破れる程の勢で降り亂れた、きのふ今日の天候につき新京觀測所では語る

內地より少し遲れ氣味の滿洲の梅雨に漸く入つたのだきのふの雨は二十ミリ八、（坪當り三斗八升）の雨量で短時間における雨量としては全く珍らしい、過日北九州、關西方面を荒した低氣壓とは別の低氣壓でけふの低氣壓は今朝五時ごろ天津方面に起きた七百五十四ミリの低氣壓が新京に近づいて來たもので、この聚雨模樣はまだ四、五日は續くらしい

消毒車庫の設計進捗

滿鐵で始めての試みとして新京に眞空消毒車庫を設立することは既報の通りであるが場所は新京機關區構內機關車庫西寄り下り本線踏切り脇の空地に決定、本部において着々設計を進めてゐるから今秋中には着工來年傳染病流行期までには竣工の豫定

日滿婦人大同會

故旭藤市郎氏の未亡人小百合女史の主　する、日滿婦人の心と心をつなぐ日滿婦人大同會は同女史が滿京奔走の結果各方面の支援加はり四日午後六時から賓宴樓で日滿名流人の懇談會が行はれた、出席者は張景惠夫人、丁鑑修夫人、李紹庚夫人、劉[illegible]夫人、王[illegible]荊山夫人、徳[illegible]夫人、吳文芳夫人、日本側[illegible]村、白井、岩坂、江部、下茂各夫人、赤木女史等で隔意なき意見を交換した

水害地方に對し 畏し御救恤金下賜
今回は浸水家屋に對しても

【東京四日發國通】畏きあたりで今回九州關西地方の水害に對し痛く御軫念あらせられ、宮內省では內務省報告を基礎として被害程度を調査してゐたが、兩陛下には關西縣下大阪、京都兩府下罹災者御救恤の思召によりそれぞれ金一封御下賜の御沙汰があつたが、湯淺宮相は四日午前電報で聖旨並に賜金を傳達したが、今回は特に浸水家屋に對しても御救恤を賜る趣きで右は初めての御沙汰と拜聞する

沿線各地に魁けて 新京に福祉委員
各區々長を委員に委囑し けふ創設式行はる

久しい懸案、滿鐵の福祉委員制度もいよ／＼實施されることゝなり新京はまづ沿線各地に魁けてけふ五日午前十一時から記念公會堂でこれが創設式を擧行した、滿鐵本社から地方部長代理多田地方課長をはじめ沿線各地の社會事業關係者ら來賓多數列席の下に野村滿鐵社會主事から開式の挨拶並に經過報告あり、武田地方事務所長から委囑狀を交付これを受け引續き同所長の式辭滿洲地方部長の告辭を終つて來賓として關東局司政部長（代讀）韓特別市長に代り植田總務處長、廣石警察署長、大原地方委員議長、大連方面委員千葉豐治氏それ／＼祝辭を述べ引續き祝電を披露したこれに對し福祉委員を代表して田中常任委員の答辭あり野村社會主事の閉會の辭あつて午後零時二十分終了、引續き別席で祝宴を張つた、福祉委員（全部各區長）および顧問の顔觸れは左の通り

▲福祉委員（富士區）石山金治（三笠區）荒木伸之（吉野區）瀧竹三郎（祝區）田中卓二（入舟區）小澤禎吉郎（日本橋區）山下藤藏（朝日區）四戸友太郎（中央區）清水末一（西廣場區）早川武夫（白菊區）久松治（鐵北區）小松兼松

▲常務委員 田中卓二、小澤禎吉郎、小松兼松

▲顧問 新京署長廣石郁磨、地委議長大原萬千百、商議會頭石崎廣治郎、滿鐵醫院長塚本良禎、商務會長張景卿、朝鮮人居留民會長金道根、商工日報社長得丸助太郎、大新京社長中尾龍夫、新京日日總務十河榮忠

新京署で衛生標語募集

新京署衛生係では傳染病の流行に鑑み一般市民の傳染病に對する關心を深め且つ衛生思想の向上に資する目的から左記により衛生標語を募集することになつた

（一）締切昭和十年七月三十一日

（二）審査新京警察署、滿鐵地方事務所

（三）發表大新京日報、商工日報、新京日日新聞

（四）賞金一等金三十圓一人二等金十圓二人、三等金五圓三人、佳作二圓十人

（五）應募規程（イ）赤痢、腸チブス、コレラ等所謂消化器傳染病に罹らぬやう最も効果的の方法を表現せるもの（ロ）一人五句以內（ハ）用紙官製ハガキにペン又は筆書のこと（ニ）宛名は新京警察署衛生係（ホ）住所氏名及職業を明記すること（ヘ）原稿は返戻せず

馮法相視察

馮司法部大臣は五日午前八時半王行刑司長、木村秘書官等を隨へ新京地方法院並に檢察廳に赴き約一時間に亘つて事務の視察を爲した

大同學院で 鹿子木博士招請

大同學院では九州帝大教授鹿子木博士を臨時招請することゝなり當局を通じ文部省に交渉中であつたが三日附許可の旨の電報があつた

警士を脅迫

四日午後十時二十五分頃城内東三馬路市營住宅附近に於て鐵嶺屯分駐所警士劉廣盛氏が立哨中小型拳銃を所持する一怪漢が現れ劉警士を脅迫し長銃一挺を強奪東站方面に逃走した届出に依り首都警察廳では直ちに管下各署に配手し目下犯人捜査中である

縁丸遭難者五名

【大阪國通】大阪商船本社調査三日正午現在の縁丸遭難者は左の如くである

生存船客 九一名
生存船員 五五名
其他死亡行方不明（船客船員）

ウヰンドを破壞 公主嶺の窃盜

【公主嶺支局電話】五日午前二時二十分頃公主嶺鮫島通一富士菓子店の飾窓を漬物石やうの物をとつて破壞し屋內に侵入現金二圓四、五十錢入りの手提金庫を窃取逃走中を警戒中の公主嶺署員が發見誰何するや矢庭に逃走を企てたので威嚇發砲し午前四時頃公園裏手に於て遂に逮捕本署に引致取調べると李某（三十二）で數日前大連から來たと稱してゐるが尙余罪ある見込みで嚴重取調べ中

五日にも 赤痢三名發生

五日午前中までの新京の赤痢患者は市內花園町三丁目島野宗次郎氏（四四）一人で累計八十七名領警管內の新患者は昌平街胡同二二三號原一雄氏（二一）明德路六〇六順天寮鄭昌德氏（二四）の二名で累計六十三名合計患者數は百五十名に達したが五日全治退院した患者は新京署管內四名、領警管內の全治者累計は十八名である

市街の日記

高野山金剛寺で 御詠歌講習

市內祝町高野山金剛寺では金剛講支部主催として日本全國に七十萬の講員を有つ御詠歌の講習會を催す要項は左の通り

講師 大本山特派布教師詠教 高木泰澄氏

七月七日より十日迄四日間午前九時より十一時迄（特別講習初心者の方々へ）（基本音譜解說）午後一より三時迄（普通講習者、一般聽講者）午後八時より十時迄（〃）講習費不用

ニューヨーク開店披露

カフエーほがらかを改裝ダイヤ街にデヴューしたバーニューヨークでは四日午後五時より市內各方面並に新聞社關係を招待披露宴を張つたがその艶冶な雰圍氣と明朗なるサービス振りは好評を博してゐる

馬場射地畫伯の 水彩畫展觀

六日から三日間公會堂で大新京日報主催、帝都畫壇に獨自の境地を誇る水彩畫の馬場射地畫伯の個人展を開催する出陳の作品五十余點は何れも新京を題材に取つたものである

軍司令官の 橋屋招待

南軍司令官は四日午後七時來京せる市村羽左衛門一行を官邸に招待訪滿の勞を犒い和やかな藝談裡に晩餐を共にした

日滿野球益金 傷病兵慰問に寄附

電業チームを加へての日滿定期野球戰の入場料賣揚高中諸雜費を引去り殘額三百圓を兩俱樂部の名で傷病兵慰問金として關東軍に寄附した

橋屋の 軍司令部訪問

滯京中の羽左衛門一行は本五日午前十時關東軍司令部を訪問、上野高級副官を通じて南軍司令官に挨拶を述べるところがあつた

寄附

新京電業公司勤務山口正敏氏はハルビンへ轉勤に際し子息の西廣場小學校在學を記念して同校父兄會に五日金二十圓を寄附した

けふの銀相場

國幣對金票 一〇三圓八〇錢
鈔票對金票 一三〇圓一〇錢
國幣對鈔票 八〇圓五〇錢
現大洋對鈔票 一二三圓〇〇錢

土屋總務部長 一行來京

內閣印刷局土屋總務部長、川島內閣書記官、松本同印刷局技師一行は七日あじあで來京八、九兩日滯在して十日吉林往復、十一日飛行機で新京發哈爾賓へ十二日再び新京に引返し十三日飛行機で圖們へ向ふ豫定

洮南鐵路局 チ、ハルへ

從來洮南に置かれてあつた洮南鐵路局は來る八日からチチハルに移轉し名稱も齊々哈爾鐵路局と改稱される

協和會中央局 組織科長

滿洲國協和會中央事務局組織科長に就任した河谷俊清氏は五日廣吉同局庶務科長の案內で挨拶に來社

京都市視察團 十六日來京

京都商工會議所議員並に京都商人からなる滿洲視察團百七十名は來る十六日朝來京、同日午後ハルビンへ向ふが、民政部では視察團一行を迎へ十六日正午大和ホテルで歡迎懇談會を催すことゝなつた

エール大學野球チーム 八月來朝

【東京國通】早大野球部の招聘に應じて八月日本を訪れる米國エール大學野球チームは來る十六日サンフランシスコ出帆の郵船龍田丸で出發し途中ハワイに二週間滯在數試合を行ひ八月十五日橫濱着の郵船淺間丸で來朝することゝなつた、六大學リーグ戰開始に先立ち各大學チームと試合を爲す豫定であるがエール大學チームは實力よりも氣品のあるチームとして尊敬を集めてをり日本大學チームと好試合が期待される

國際野球部 滿洲國とも對戰

大連國際野球部を迎へ七日午後一時から西公園球場で電業公司と對戰終つて午後四時から滿洲國軍と對戰することになつた

仙人掌

世界にゐた眞澄、この間朗らかにハルビンの街を歩いてゐたです、彼女大きなロシア人たちの群れの中に置いてもちつともひけを取らない、何しろ四尺十三寸組ですからね▲もうけふあたり新京に歸つてる筈です▲雜誌「滿洲改造」に某君の「昂奮させる食物」といふ小說が出てゐるが、その中にナナちやんキヤピタルの千葉君、松葉のマダムらしいのなどが登場して來て仲々に面白いです

天氣と氣溫

明日の天氣 北寄風曇勝雨模樣
日の出 午前四時二分
日の入 午後七時二十四分
月の出 午前十一時十七分
月の入 午後九時二十二分
けふの氣溫 最高 廿八度七 最低 十七度九

第卅壹期營業報告

自昭和九年十二月一日 至昭和十年五月三十一日

貸借對照表（昭和十年五月三十一日現在）

資產之部（借方）

科目	金額
諸建物	四三、六八八·三六
營業用什器	一、五〇一·三五
所有動產（製材機械）	六三二·〇三
貸付金	八、〇〇〇·〇〇
手形貸付	四、五〇七·〇〇
假拂金	五〇〇·〇〇
未收金	四三一·七六
當座預金	三、五六四·二四
金銀	〇
合計	七五、一〇四·六一

負債之部（貸方）

科目	金額
資本金	一〇〇、〇〇〇·〇〇
法定積立金	八、一六七·〇〇
別途積立金	四、六五八·九九
所有物價格銷却基金	[illegible]
未拂配當金	一、六三一·五八
借入金	一、〇〇〇·〇〇
假受金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	七五、一〇四·六一

利益金處分

一、金二萬一千二百七十八圓六十二錢也 當期純益金
一、金八百九十五圓五十二錢也 前期繰越金
合計金二萬二千一百七十四圓十四錢也
之レヲ處分スルコト左ノ如シ
一、金一千二百圓也 法定積立金
一、金一千圓也 別途積立金
一、金五千圓也 所有物價格銷却基金
一、金一千圓也 退職手當基金
一、金一萬圓也 株主配當金（年一割）
一、金一千五百圓也 役員報酬
一、金一千六百圓也 役員賞與金
一、金八百七十四圓十四錢也 後期繰越金

右ノ通リ候也

昭和十年六月二十八日

長春建物株式會社

誰が殺したか

（第上卷）　國枝史郎氏外二　龍造寺瞻畫

第一の殺人　二

青山は貴公子然としたスマートな青年だつた。ホームスパンの薄色のサックコートがぴたりと身について、ネクタイも、靴の泥もいつも色の冴えたものだつた。どの一點にも隙といふもののない、そのまゝ一流洋服店のウヰンドー・マネキンもつとまりさうな、磨きのかゝつたダンディだつた。

とかく、そのやうにモダン氣取りの青年は、氣障つぽくて、すましこんで、靴磨きの定吉などといふ人種には、足を伸べたまゝ、顔は知り合つてゐても、口はきいたことがなかつた。しかしいつも愛想がよく、靴の手入れをさせながら冗談や輕口の一つ二つはきつと叩いて、定吉と一緒に笑ひ合つた。

「俺の蝶子」—陶摸や與太者がダンディ氣取つた—そんな職造品的インチキは微塵もなく、どこか、上流人のやうな、快い氣品があつた。

「育ちがよかつたに相違ない」と、定吉は最初からふんでゐたので、定吉は彼を一番に贔屓してゐた。少くとも、一昨日まではさうであつた。その青山が、ものもあらうに、陶摸だつたのだから、ホールへ通ふ大勢の青年達の中でも、定吉は彼を一番に贔屓してゐた。初めて發見して、定吉が、ガンと殴られたやうに、びつくりしてしまつたのも無理はない。

一昨日、矢張り、青山が昇降機から出て來て、そこへまつてゐた人々が入れ代りに乘らうとして搗れ違ふ途端だつた。

何の氣なしに、ひよいとあげた定吉の眼に、その素早い蔭の一件が、縱横の位置からの關心であらうか、瞬間、丸見えに見えてしまつた。それが、昨日もさうだつた「今日も同じ場所で、矢張りさうだつたか、ずつと前から、昨日こゝで、あの季節が演じられてゐたのかと思ふと、定吉はゾッと肌寒かつた。

「この陶摸の畜生が、俺の蝶子を手に入れようとしてゐるのか、とんでもねえ」

と思ふと、今までうつかりしてゐた自分に、むしろ腹が立つた。

が、定吉には何といつても上客、そのことのあつた後も、エナメル・キッドを膝の上に載せられると嶮い顔も出來なかつた。

今までは青山を「俺の蝶子」に似合ひ向きのいゝ戀人だと定吉は秘かに祝福を捧げてゐたのだつた。

「俺の蝶子の戀人となると資格のある者は、この男のほかに、またとあるものか」

が、それは今や、ぺしやんこであつた。定吉には、人には云へない妙な一つの誇があつた。誰に許されたのでも頼まれたのでもないが、ダンサーの蝶子を「俺の蝶子」と思ひたがる誇だつた。それが彼の、ひそかな樂しみであり、慰めであり、また誇りであつた。

一年近く、こゝで靴磨きをしてゐるうちに、蝶子とは何故か、噂のうちに氣が合つたとでも云ふのか、特にどうしたといふのでもないが、定吉には他人とは思へなかつた。五十人もゐるダンサーの中で、顔をみるたびに優しく言葉をかけてくれるのは蝶子だけだつたが、それだけではなしに、兩親がな〜一人の弟に學校を仕込んでゐる健氣な彼女の境遇か、やはり定吉の場合とよく似通つてゐた點からの、同情と心安さからだつたかも知れない。

靴磨きを求める客がコトコトと叩いた。いつの間にか客が椅子の上に乘つてゐる。

「すみません」と立つたが、客は默つて新聞を擴げてみてゐた。新聞は横文字で鼻眼鏡の鼻の高く尖つた外人だつた。

（この章國枝史郎作）

觀劇の手引（四）

羽左上演狂言の漫談的な紹介

迎江源氏先陣館

◇…この狂言に近松半二、三好松洛等合作、明和六年十二月（百六十六年前）大阪竹本座で初めて操芝居で上演されたもので「盛綱陣屋」はその八段目で、この狂言の中心となるものです、佐々木盛綱高綱兄弟のことになつてゐますが、その實は豐臣徳川兩家の戰ひ—大阪冬の陣の經緯を戲曲化したものです、徳川幕府時代にはその頃の史實を芝居や小説にすることを許さない方針で、初演大阪といふのも所謂お膝元で無い事が多少大目に見られたことで、江戸で舞台に上つたのは、廿年以上も經過した寛政時代になつてからです多の陣ですから大詰に和睦になつてゐますがこの續篇が「鎌倉三代記」でこれは夏の陣のことです、坂本城が陥落して一黨が蝦夷へ渡るといふのは、秀頼が薩摩へ逃げたといふ話を採入れてあるのです佐々木兄弟は豐臣徳川の兩家に別れて戰つた眞田幸村信幸兄弟のことで、北條時政は家康に當りますですから「一陽春を松平の」云々の文句で包はせてあります、和田兵衛は後藤又兵衛です

この「陣屋」が舞台的に永い生命を持つたゐることは、武道實事の盛綱といふ主役が情を知る武の眞諦に生き、それに荒事めいた和田兵衛、後室役の微妙武家女房の篝火と早瀬、小四郎といふ憐れに勇ましい子役がそれ〴〵に見せ場をもつて愛子の劇的興味で觀客に迫り捲くことを知らしめないからであります、それに「意外」ところ手で筋の面目さを倍加してゐます、つまり小四郎が捕虜になりその母の篝火が取返しに來るのも皆トリックなので、そのトリックの爲めの登場人物に依つて觀客の氣持を色々に引摺り廻そうとするのですそれに武士が戰場ではなくそれを裏として家庭的な場合なので、私達に余計に人間的な親しみを持つ事が出來て感銘します、坂東彦三郎、中村宗十郎、市川團十郎が盛綱三幅對として明治時代に稱讃されたものですがそれ以後は羽左衛門、雁治郎の二人になつてゐますしたがその雁治郎も故人となつてしまいました

羽左衛門の盛綱は立派な押出しで完成した形式美とも云ひませうか、母に對する情、子に對する情、妻に對する情、弟に對する情場に對する情さうした錯綜した、感情が自然に流れ出る人間性をはつきり仕分けて、ひしと身を引締められます、それも情に沒頭することなく中心の首實見の間の複雜な表情に他の人ではとても保ち切れない長い間を倘知得々としての盛綱を眼前に描かせてくれます、この狂言を九代目團十郎は明治十四年春木座で演じただけでしたがその後羽左衛門が先代家橘十三回忌追善で歌舞伎座で演じたのが大歌舞伎として久し振りの上演で、現今此の狂言を一般に馴染の深いものとしたのは全く羽左衛門の力です

石切り梶原

……これは「三浦大助紅梅」と云つて京保十五年二月（二百五年前）に大阪竹本座で操り芝居に初演されたもので作者文耕堂等の合作です、現今では「梶原平三情石切」として星合寺（或は鶴ヶ岡八幡宮の社頭）の石切り場だけが上演され三浦大助が頼朝再擧の爲めに軍用金調達の件が省かれます羽左衛門の初役は大正九年二月歌舞伎座で外題も「梶原」です（寫眞は羽左の石切り名橘譽の石切」としましたが石を切つ」る型の水際立つた素晴らしさが江戸ッ子石切と評判をとりました

星合寺で六郎太夫が名刀を賣らうとするのは、娘の梢が身を賣つて三百兩調達せる代りになることなのですが、これを羽左衛門の梶原で見ると石を切ることも、など」いふのは芝居だからと云はれるかも知りません、平水鉢を刀で眞二つに切る人を切つて下の人間には微傷すら與えないといふ手法の鮮さは、決して所謂お芝居と見へない程の「技神に入る」とでも云ひませうか決してトリックとは思へません、石を切るといふ不思議さが少しもない歌舞伎劇の玄妙な世界を泌々感じます

◇…この狂言の妙味は色彩の美しさと痛快味との二つにあります、鑑定試斬り、石切りの型の美しさは今更云ふまでもありませんが、六郎太夫父娘を手水鉢の傍に立たせて「寫「りし親子の姿は二つ（胴）刀の切れ味これを見よ」で手水鉢を切りますと、稍が「あれ見やとつさん切り手も切り手」と六郎太夫が云ふと梶原が「劍も劍」でキマルの が一番の見處です梶原は此の時は未だ平家所属ですが、この場で大場俣野が歸ると六郎太夫とあの刀を見て「差裏に八幡るは源氏の余類であらうと」糺し「佐殿が伏木の洞に隱れたを早ぐも推し大場を欺きしは某々の先祖は源氏方」と心中を明かします、これから深反の家來になるのです、梶原と云へばいつでも憎まれ役に定まつてゐるのですがこの狂言では「刀」の本阿彌これやより虚へお氣がつきましたと、俣野に云はれる程の鑑定家であり情ある武人として出てたることも珍らしいことです。（寫眞は羽左の石切り梶原）

◇初日、二日目狂言◇

第一　だんまり　鷲ヶ峰古堂の場　大薩摩連中

羽左衛門我童を始めとして、一座が顔見世の大豪華…絢爛滿場を眩する大舞臺

第二　近江源氏先陣館（おうみげんじせんじんやかた）　佐々木盛綱陣屋の場　竹本連中

折紙附きの羽左衛門の盛綱に…龜藏の信樂太郎…村右衛門の秀盛…鷹正の時政…家橘の篝火…我童の微妙…時代物の模範として光彩陸離の大舞臺

眞山青果氏の力作　片岡我童の熱演

第三　椀屋久兵衛（わんやきゆうべえ）　藤の棚椀屋久兵衛閑居の場　新町吉田屋二階座敷の場

お馴染の椀久松山の物語りを眞山氏獨自の新作に寫して往年の人情世相躍如…蓋し我童の久兵衛は絶品中の絶品

國寶的大舞臺

第四　歌舞伎十八番の内　勸進帳（かんじんちよう）　長唄囃子連中

歌舞伎、新歌舞伎十八番は日本演劇の代表作にして國寶的の絶品…羽左衛門の辨慶、我童の富樫…家橘の義經…と言ふ各役絶好の配役に衣裳小道具總て古格に則り帝都そのまゝ…前例なき絢爛豪華な大舞臺現出御見逃しなくこの機會に是非御高覽を!!

三世瀬川如皐作　羽左衛門極付の逸品

第五　與話情浮名横櫛（よわなさけうきなのよこぐし）　源氏店妾宅の場　同　妾宅外の場

三世瀬川如皐の傑作…天下一品と極付の羽左衛門の切られ與三郎に…梅幸歿後…羽左の女房役としての我童のお富…龜藏の蝙蝠安その他絶好の配役にて氣も浮き立つ…名臺詞と名演技…此機會なればこそ…無類の觀物!!

第六　所作事　二人道成寺（ににんどうじようじ）　鐘供養の場　長唄囃子連中

若手舞踊の双璧にして艶麗無比…家橘の白拍子花子に…芦燕の櫻子…その他梨園の精鋭が輕妙洒脱に踊り拔き…くりひろげる大繪卷!!

ラヂオ　六日（土曜）　新京

午前之部

六、〇〇　建國體操（滿語）
六、一五　ラヂチ體操（大連）
引續き　入港船の御知らせ（大連）
六、三〇　中等滿語講座（奉天）　講師　秋父固太郎
七、〇〇　中等日語講座（奉天）　講師　近藤喜助
七、二〇　全滿天氣豫報（大連）
七、二二　朝の音樂（大連）
一、交響曲第十三番ト長調　ハイドン作曲　ウイン交響管絃樂團　指揮クレメンスクラウス
二、玩具交響曲　ハイドン作曲　英國交響管絃樂團　指揮　ガイン、ガートナ
八、三〇　經濟市況（東京）
九、四〇　經濟市況（大連）
一〇、〇〇　料理獻立（奉天）
一〇、二〇　經濟市況（大連）
一〇、四〇　經濟市況（東京）
一〇、五九　時報（東京）
一一、〇一　經濟市況（東京及大連）
一一、四〇　ニュース（東京）

午後之部

〇、〇一　經濟市況（大連、引續新京）
〇、二〇　ニュース（滿語）
〇、三〇　建國體操（滿語）
〇、五〇　ニュース
二、〇〇　經濟市況（大連）
引續き　日用品値段（滿語）
二、二〇　婦人講座　婦女職責（第五講）　田麗氷
二、四〇　演藝レコード（滿語）
二、五〇　經濟市況（東京）
三、〇〇　ニュース（東京）
三、三〇　經濟市況（大連）
三、五〇　ニュース
四、三〇　ニュース（鮮語）
四、四〇　演藝（鮮語）
四、五〇　ニュース（英語）
五、〇〇　子供の時間（大阪）
ラヂオ遊び　七夕さま　吉田幸
五、二〇　コドモの新聞（東京）　關屋五十二
五、二五　氣象通報、番組豫告
六、〇〇　ニュース（東京）
六、二〇　政府公報（滿語）
六、三〇　講座「滿洲帝國産業之現況」第六講　觀象産業上　中央觀象臺　王鳳桐
七、〇〇　獨唱とジャズ
一、獨唱
（イ）歌劇コルネヴヰーユの鐘中のアリア
（ロ）歌劇フラデイアヴオロ中のアリア
（ハ）二人の擲彈兵
獨唱　糸井光彌
伴奏及ジャズ　新京ジャズバンド　指揮　大川操
二、ジャズ
（イ）フオックストロット「思ひ」
（ロ）スロウ　トロット「マイブルーヘブン」
（ハ）ブルース「泣かして頂戴」
（ニ）ブルース「ダイナ」
（ホ）タンゴ「ポエム」
七、三五　小唄
一、鳳折り　唄　開花圓太郎
二、ぶらり・三味線　田村小初
三、侍つ夜　三味線　光丸
四、夕立　開花
五、月は田毎
六、五月雨
七、五五　映畫物語　東京よいとこ　谷崎　私波　音樂　高村成郎
八、三〇　時報、ニュース（東京）
引續き　ニュース
八、四五　ニュース、經濟市況　氣象通報、番組豫告（滿語）
九、〇〇　舊劇（奉天）
戲蒲關　奉天公餘會劇名票　王覇興亞　劉忠于蓮客　徐鶴廣秋影　場面六名
一〇、〇〇　北滿の時間（露語）（哈爾濱）

居住消息

轉居

▲東庄藏氏（東京府）富士町三丁目十三番地ノ二へ
▲菅崎三文氏（長崎縣）敷化から錦町三丁目七番地第四錦ビル八十一號室へ
▲平川博行氏和泉町からハルビンへ
▲山下榮氏大平街から吉野町一丁目十八番地四へ

出生

▲小野寺丑藏氏（露月町二丁目十七號ノ四）次女敦子さん二十七日出生

死亡

▲吉澤賢治氏（東三條通五十一番地）弟清一さん三日午後二時死亡
▲藤井福五郎氏（三笠町三丁目十六番地）次女孝子さん三日午後二時三十分死亡

七曜　土曜　六月六日　癸未　大安　除　女宿　七月六日

●一白の人　進まんとして進まず相談事は後日にすべし　丙と辛と壬が吉
●二黑の人　成るべく外出を愼しみ家居して定業を勵め　甲と乙と辛が吉
●三碧の人　喜びに溺れば悲みを生ぜんとする注意の日　丙と戌と癸が吉
●四綠の人　褌を締め直して掛れば難みも解け去るべし　辛と戌と乾が吉
●五黃の人　知らず識らずに深味に入り込み無理する日　甲と乙と未が吉
●六白の人　出先きに長座すれば人の縺れを背負ひ込む　乙と辰と未が吉
●七赤の人　運氣は强けれども仕入物に注意を拂ふべし　辛と丑と寅が吉
●八白の人　内輪に事なき樣和合を主とすれば吉と成る　甲と乙と壬が吉
●九紫の人　剛情我慢は失敗の本なり穩健なるが尤安全　丁と未と癸が吉

本年の出材豫想 三百二、三十萬石
鐵路送材は一段落

滿洲木材界は毎年三百五十萬石以上の出材を見、しかも不足勝ちであるが本年の木材出量につき消息通の觀測によれば三百二、三十萬石ではないかと見られてゐる、而して本年の陸出し送材は滿鐵及び鐵路總局貨車繰り順調ですでに一段落を告げたが、大体例年より一割方の減少と言はれ今後各河川の流送材を期待するのみとなつたが、例令兩期後に於ける流送に馬力をかけ相當以上の成績をあげてもこれ又幾分の減少を免れぬであらう、因みに各地別出材豫想は左の如くである

一、京圖線の沿線、陸出材六十四萬石、流送材四十五萬五千石、合計百九萬五千石
一、拉濱線の沿線 陸出材三萬石
一、濱州線沿線 陸出材三萬石
一、濱綏線沿線 陸出材四十九萬石、流出材七萬石、合計五十六萬石
一、濱北線沿線 陸出材八萬石
一、寧佳線沿線 流出材七萬石
一、鴨綠江流出材(民間)六十萬石 同上(採木公司)三十九萬石
一、哈爾濱着材 陸出材二十九萬石
一、間島材 陸出材二十萬石

以上合計三百七十八萬石となるが右豫想は本年初めの數量でこれより約一割減じ結局三百三、四十萬石と見られる

新京輸入組合 六月分成績

一、貸付及回收
　貸付 本月中貸付額 一〇七件 金一〇三、二九六・〇〇
　回收 回收額 一〇六件 金 九五、五三一・〇〇
　本月殘高 二三七件 金 二四九、四〇九・〇〇
二、仕入先
　一、現地 金六四、六六〇・〇〇
　二、內地 金三三、六四三・〇〇
　三、大連 金一四、〇九八・〇〇
　四、滿鮮其他 金 八、六五五・〇〇
　五、合計 金一〇三、二九六・〇〇
三、組合員 銀行救濟者滿洲銀行及正隆銀行脫退者一名 六月末現在組合員一一二名 及持口數 普通出資口數三二三 特別出資口數一一二八口、合計三六八口
四、出資拂込 六月末現在普通出資拂込額金一六、〇〇〇、〇〇 同特別出資拂込額 金 [illegible]
五、傳票取扱店數九三、使用個所八〇個所、使用人員八七〇名
　購買 本月中取扱高 金一[illegible]
六、商品券取扱高本月中取扱高 金九九五、七〇

新京金融組合 六月中成績

新京金融組合
組合員 加入一三名 脫退一二名 現在 七四八名
出資口數 增加 五二口 減少 五〇口 現在 三、八五三口
出資拂込資金 一〇四、〇〇〇圓
預り金 預り高三八七、五二五圓 拂戾高三七二、五三八圓 月末現在殘高 四〇六、一二三圓
貸出金 新規貸出七六七、〇八五圓 回收高 七三〇、五六〇圓 月末現在殘高 八一八、九七五圓

六月と云ふ月は銀行の決算期にして銀行關係分は一應決濟せざる可からざる者もあり尚建築關係は工事金の取下出來ず相當金繰に一般商工業者は苦しみ引いては花柳界は勿論カフエー飲食店方面は水揚高少くボーナス月に不拘實入り少く大店舗を有する者より規模小さく經費少き營業者商店方の金廻り却つて良好なり滿人方面は特産暴落のため且滿人銀行休業のため其方面は特に懸く銀行關係は相當響きたるも當組合の如きはその方面の影響なし組合の利用者日に增し增加し又々事務員一名を七月より增員決定せり而して尚事務員不足し事務所狹きため事務所新築の案もあり

七十萬頭に上る
緬羊增産の新計畫
農家經濟に一大福音

【東京國通】緬羊、羊毛、羊肉、自給肥料等の觀點からその飼育は農家經濟に多大の利益を齎らしてゐるに拘らず現在のところ農林省は僅か十五萬圓程度の豫算で約五百頭の緬羊を輸入する外種羊場より約三百頭合計約八百頭の緬羊を民間に供給してゐるに過ぎず、而もその需要は益々旺盛ならんとしているので農林省では之が增産計畫を樹立する必要を認め先般來畜産局で立案中のところ大体五ヶ年乃至廿ヶ年繼續で七十萬頭增産計畫のもとに一ヶ年約百萬圓の豫算で之を實施するといふ新方針を決し、近く更に計畫を整理の上、省議にかけて大藏省に新規要求することゝなつた

大連特産 恐慌緩和す

【大連國通】去る二十五日双盛泰、復順厚兩錢莊の取り付け騷ぎを導火線として大連特産市場に爆發した特産恐慌は一時滿洲特産界に一大衝撃を與へ、此波紋は全滿に擴大するに非ずやと懸念されつゝあつたがその後人氣は漸次鎭靜に歸し、相場も徐々乍ら回復歩調を示しつゝあるが、之は大体左の如き原因による

一、懸念されてゐた倒産者續出の模樣もなく右二錢莊にとゞまつたこと
一、市場の玉整理も略完了し灰汁拔けの態となつてきたこと
一、金融業者のモーラル、サポートにより漸次金融が緩和されつゝあること
一、歐洲筋が弗々乍ら安値には買付けてゐる事
一、大豆に害虫が發生してゐるとの報が傳はつてゐること
一、銀塊相場の凋落に連れ鈔票相場が軟調を辿つてゐること

國際勞働局長 バトラー氏年報發表さる(下)
日本の就業狀態は世界最高 その主因は高橋財政にある

公共事業其他の匡救事業に就ては一九三二―三三年には二億五百五十萬圓、一九三三―三四年には三億六千五百卅萬圓、一九三四―三五年には二億六千三百九十萬圓が支出された

世界不況の時期を通じて何が日本をして高水準の就業狀態を維持させたかを理解する事は重要であるので、以上の通り稍々詳しく述べた次第である、或る方面では此成功を日本の輸出の大躍進に歸させる傾向がある、實際の數字の示す處では日本の進出は一九二九年の廿一億百萬圓といふ頂點から一九三一年には十一億一千八百萬圓に低下し、爾後再び著實に增加して一九三四年には總額廿一億三千四百萬圓、つまり不況以前とほゞ同じ額に達した、勿論この間世界貿易の金價額は相當に縮減したのだが、それにしても日本の占める割合は一九二九年の二、八七%から一九三四年の約三、五%に上昇したにとゞまる

いかにも日本の輸出の物量は右の價格の示すところより遙かに增大した、精密な資料は手許にないけれども一九三二年に於て金に換算した日本の輸出價格は一九二二年以來六〇%も減じたに對して數量の方は六%弱だけ減じたに過ぎなかつたといふ事實からして或る程度の概念が得られるだらう、日本の繁榮の裡に占める外國貿易の要素の重要さを決して過少評價するものではないが、生産が回復され恐るべき失業が阻止されてゐる主因は日本政府のインフレ政策のうちに見出されることは疑ふ譯に行かないだらう、高橋藏相はやがて政策の變更が必要となることは認めつつも現在のところ豫算の不均衡は金融の安定上何等の危險をも伴つてゐないと言明してゐる、インフレ政策は就業狀態と事業活動とを促進する上に不思議な程成功して來たし、累加する公債負擔の如きも堪へ難きものとはならないやうである

日伯貿易促進の勸告書公表
近く兩國政府に提出の筈

【リオデジアネイロ三日發國通】我遣伯經濟視察團とブラジル政府特別委員會との間に討議作成された日伯貿易關係促進に關する勸告書は三日外務當局より公表された、該勸告書は近く日伯兩國政府に提出の運びとなる筈であるが內容骨子は次の如くである

一、日伯取引は同建とする
一、ブラジル産マンガン鑛の日本向輸出促進のため日本は必要なる援助を與へブラジル政府はバヒア港擴張を行ひ一日五百噸の積出しを可能ならしめる
一、日本のブラジルに於る凍結資本に融化を目標とした横濱正金銀行對ブラジル中央銀行の協定を作る事
一、觀光客交換促進のため兩國觀光局當局の協力をはかる
一、ブラジルから日本向け輸出の鑛石に就てはブラジル專門家の鑑定を付し、含有量並びに等級を明かにする事
一、日伯經濟關係發展のため日伯双方貿易業者共同の貿

財政部で 阿片問題等協議

五日午前十時から財政部會議室において田村財政部國稅科長、滿水民政部總務司長、櫛田同財務科長、難波專賣總署副總署長等關係事務官出席の下に阿片問題並に財政部と民政部の所管事項等について協議するところあつた

森永の對滿輸出 毎月七、八百萬圓

全滿菓子需要の七割を供給してゐるといはれる森永製菓會社では昨今毎月七、八百萬圓の對滿輸出製菓に忙殺されてゐるが、森永ベルトラインは奉天以南に約一百を數へ、北滿方面は滿洲販賣會社の手によつて廣軌沿線まで進出してゐる、同社の大連工場は本年三月十週年を迎へたが未だ一般向きのビスケット、キヤラメル等の製造以上に出でず、滿洲に於いて驚異的需要を示してゐる高級品の製菓は專ら內地工場で行はれてゐる

產金買上値

五日財政部發表＝產金買上法に基く產金買上價格を一瓦に付國幣三圓四角五分と決定した

中銀週報

自康德二年六月二十三日 至同六月二十九日

貨幣發行額	一三四、一〇八、四四一、九六
紙幣	一三三、八二四、三二一、九六
準備	六〇、三三五、七三六、三五
保證	五三、四六八、九六五、七一
鑄幣	二〇、六六三、九四〇、〇〇

康德二年七月二日 滿洲中央銀行

長春

日支關係の好轉が喧傳されてから相當の月日が經過したがその具体的な現はれは何處に在るのかわづかに滿鐵の北支への進出が軍部の意向を背景に最近放送されはじめただけのやうだ

この方向は恐らく事態の眞實を識る人々には首肯されるところであらう北支那はその獨自な條件をもち、日本との關係でも、また滿洲國との關係に於いても肉身的聯繫を持つてゐるのである、口舌を弄んで機會主義に終始する如き南京的やり方を離れてわれらは北支へ眼を注ぐのだ―「嬉しきは長屋住居のお裾わけ」

土建ニュース

決定工事
●本溪湖地方事務所
▲本溪湖誠忠山遊園地道路築造工事 落札 二千三百三十六円 吉川組
一、三六八― 大同組 一、六四〇― 細川組
●滿鐵地方部
▲鷄冠山第六、八號旱(6×3)八戸增改築工事
▲秋木莊丁種社宅二戸新築工事
第一回 超過 一三、三六〇、一 水間組 一三、六五〇、一 村木組 一三、六九〇、一 草場組
第二回 超過 一三、一五〇、一 水間組 一三、一一〇、一 村木組 一三、二六〇、一 草場組
示談決定 一万三千百三十四円十二錢 水間組
●奉天鐵路總局
▲京圖線延吉磨盤間七四八四一麻爾已通河第十三木橋改築工事
第一回 超過 四八、九〇〇― 飛島組 五〇、九〇〇― 岡組 四九、三〇〇― 福昌公司 五〇、八二〇― 日滿土木
第二回 超過 五四、三〇〇― 榊谷組 四四、八〇〇― 飛島組 四七、七〇〇― 岡組 四七、九〇〇― 福昌公司 四九、〇〇〇― 日滿土木
示談決定 四万四千三百六十四円五十六錢 飛島組
●安東地方事務所
▲大子河社宅乙一戸其他新築工事 單獨落札 一万七千三百円 大同組
●奉天鐵道事務所
▲新京驛構內貨物道路補裝改築工事 落札 一千七百五十六円 新京阿川組 一、七八〇― 日本工業 二、一〇〇― 三田組 二、四七〇― 葛井組 三、三六〇― 岡組
●奉天鐵路局
▲綏中驛給水所機關室新築工事 單獨 六千三百八十五円 吉川組
▲壹盧島夾山ポンプ室新工事 單獨 一千六百八十六円 吉川組
●撫順炭礦
▲龍鳳第二注砂拉ポケット地開工事 落札 八千八百五十六円五十四錢 龍山組 九、二三九、二 大倉組
▲吉城子工場倉庫建物新築移轉工事 落札 五万九千七百五十六円 三田組 六二、〇〇〇、― 高岡組 六六、五〇〇、― 大倉組
▲千金寨滿洲街排水工事 落札 一千五百三十六円 西津組 一、七四〇、― 田中組 一、九九八、― 旋山組
▲新屯集合社宅(T)新築工事
落札 八万二千六百円 大倉組 八六、六〇〇、― 田中組 八三、四〇〇、― 高岡組
▲撫順驛前タール碎石舖裝工事 落札 一千九百十五円 田中組 一、〇九五、― 後藤組 一、二八〇、― 西津組 一、二五〇、― 伊賀原組
▲大官屯返滿造築工事 落札 四千四百三円 伊賀原組 四、八〇〇、― 飛島組 五、三三六、― 三田組 六、四三〇、― 西津組
▲永安台甲社宅新築工事 單獨 八万八千三百円 村松組
▲永安台丁社宅新築 單獨 五万三千三百円 神田組
▲南台町第二合宿新築 單獨 五万千百三十円 村松組
▲永安台乙集合社宅新築 單獨 十二万三千五百円 後藤組
▲南台町第一獨身社宅新築 單獨 五万二千六百七十五円 旋山組
▲南公園(A)及一號社宅新築工事 單獨 五万八千九百円 伊賀原組
●新京鐵路局
▲京圖線朝陽驛旅客給水柱及灰坑新設工事 落札 一千七百六十五円 福昌公司 一、八九〇、― 大倉組 二、〇四四、七五 岡們製作
▲京圖線明月溝驛旅客給水柱及灰坑新設工事 豫超に付き設計變更再入札 七月六日

商況欄(七月五日前場)

海外經濟電報

倫敦銀塊	三一片〇〇
同 遠限	三一片一六分三
紐育銀塊	三五弗〇〇
孟買銀塊	七三留比〇〇
米英爲替	美國獨立記念休會
米日爲替	
米支爲替	
スチール株	
アナコンダ	
英日爲替	一志二片八分一
英支爲替	一志七片二分一
英米爲替	四弗九四仙四分一
印日爲替	七八留比四分一

米棉
本日休會

印棉

ブローチ	二三四留比
オームラ	二二二留比
ベンゴール	一四四留比

市俄古小麥
休會

カルカッタ麻袋

當筋	二七留比一六分一三
先筋	二五留比八分一

金銀市況

●上海標金	八二七、五〇	
昨引	六六、六〇	四四、五〇
本寄	六七、〇〇	三三、八〇
歩	六六、五〇	三三、三〇

爲替相場

上海爲替
▲日本向

第一回 賣買	一三六、七五〇〇 一三七、二五〇〇
第二回 賣買	一三五、二五〇〇 一三六、七五〇〇
第三回 賣買	一三六、二五〇〇 一三六、七五〇〇
第四回 賣買	一三六、〇五〇〇 一三七、〇五〇〇

▲倫敦向

第一回 賣買	一志七片一六分三 一志七片一四分一
第二回 賣買	一志七片四分一 一志七片一六分五
第三回 賣買	一志七片一六分三 一志七片四分一

▲紐育向

第一回 賣買	三九弗八分一 三九弗二分一
第二回 賣買	三九弗八分五 三九弗四分三
第三回 賣買	三九弗八分五 三九弗二分一

大連爲替

▲上海向	一〇八、〇〇 一〇八、三〇 / 一〇八、一〇 一〇八、四五 / 一〇八、二五 / 一〇八、三五
▲臺灣向	一〇八、九〇 一〇九、一〇 / 一〇九、九五 / 一〇九、〇〇 / 一〇九、〇五

阪神日米爲替
第一回 賣買 二九弗八分一〇〇

阪神日英爲替
第一回 賣買 一志二片三分三 三分五

●大連金鈔票

現物 寄付 一三五、六〇 引 一三五、九〇
七月十三日限 寄付 一三三、五五 出來高 四〇万 七月廿八日限 出來不申

●大連鈔票滬大洋
現物 一三九、八〇 一三九、一〇

●奉天國幣金票
現物 一〇三、八〇 一〇四、一〇

●奉天國幣鈔票
現物 一三〇、八〇 一三一、〇〇

●哈爾濱國幣金票
現物 一〇二、六〇 一〇三、八〇
七月十二日限 七月廿七日限

●安東國幣金票
現物 一〇三、八五
七月十三日限 七月廿八日限

株式相場

大阪株式(短期)

	寄	引
大新	八四、九〇	八四、三〇
鐘新	二四七、七〇	二四〇、五〇
東新	一三六、八〇	一三七、四〇
日鑑	六二、〇〇	六二、五〇

大連株式(短期)

	寄	引
五品	一六、三〇	―
豆新	二二、〇〇	二一、四〇
鈔新	一九、七〇	―
東新	一三七、三〇	一三八、七〇
鐘新	二四、九〇	―
日鑑	六六、九〇	六六、九〇
満紡	六六、六〇	―
二新	一六、一〇	―

奉天株式(短期)

	寄	引
取新	一四、一〇	一四、一〇
東新	一三七、三〇	一三八、三〇
鐘新	二四、八〇	二四、三〇
日鑑	六三、一〇	六三、三〇

新京取引所市況(七月五日前場)

●大豆 現物(一石値段) 定期(混合百斤値段)

	寄	引	出來高
現物	―	―	
七月限	三、三一	三、二四	一七〇車
八月限	三、三五	三、三〇	七〇車
九月限	―	―	―
十月限	―	―	―
十一月限	―	―	―

●高粱

	寄	引	出來高
現物	―	―	―
七月限	二、七六	一、メ	二車
八月限	―	―	―
九月限	―	―	―
十月限	二、六五	二、四〇	三車
十一月限	―	―	―

●鈔票對金票
十三日限 二十八日限
寄 一三五、八八 一三五、六〇
引 一三五、八〇 一三五、四〇
出來高 圓 圓

●國幣對鈔票
十三日限 二十八日限

●錢鈔
國幣對金票 一〇四、八〇 / 鈔票對金票 一三六、四〇 / 國幣對鈔票 八、二〇 / 現大洋對鈔票 一三二、九〇

特產市況

●大連大豆

袋込	三、八四 三、九一
七月限	三、八五 三、九一
八月限	三、八九 三、九六
九月限	三、九五 三、九八
十月限	三、八六 三、九〇
十一月限	三、七六 三、八四

●同 豆粕

現物	一、二三〇 一、二三〇
七月限	一、二三〇 一、二三〇
八月限	一、二三五 一、二三五
九月限	― ―
十月限	― ―
十一月限	― ―

●同 豆油

現物	二、四〇 二、四〇
七月限	二、四〇 二、四〇
八月限	― ―

●哈爾濱大豆

現物	三、一三 三、一一
七月限	三、一四 三、三八
八月限	三、二二 三、二三
九月限	三、一〇 三、一〇
十月限	二、九四 二、九五
十一月限	二、八八 二、九八

●同 小麥

七月限	七、八〇 七、七〇
八月限	七、七五 八、〇〇
九月限	七、九五 八、一七

●同

七月限	一、二三五 一、二三五
八月限	一、三五〇 一、三〇〇
九月限	一、一五〇 一、二六〇

商品市況

▲神戸豆粕

七月限	三、五一〇 三、五五〇
八月限	― ―
九月限	― ―
十一月限	― ―

▲大阪綿糸

	寄	引
七月限	二〇七、九〇	二〇八、六〇
八月限	二〇七、六〇	二〇七、九〇
九月限	二〇七、四〇	二〇七、一〇
十月限	二〇五、八〇	二〇五、九〇
十一月限	二〇五、一〇	二〇五、四〇
十二月限	二〇四、〇〇	二〇四、七〇
一月限	二〇四、五〇	二〇四、七〇

▲大阪棉花

當限	六三、〇〇 六三、〇〇
先限	六二、八五 六二、四五

▲大阪人絹

當限	五九、八〇 五九、四〇
先限	六八、七〇 六〇、五〇

(大阪株式)

	寄	引
大新	八四、〇〇	八四、一〇
五品	一五、八〇	―
豆新	三一、五〇	三一、四〇
鐘新	六三、〇〇	六二、八〇
二新	三五、九〇	三五、九〇
電甲	一六、〇〇	一六、〇〇
同乙	一三、〇〇	一三、〇〇
東拓	八、九〇	八、九〇
東亞	三六、九〇	三六、八〇
日魯	六三、五〇	六三、五〇
満興	二四、一〇	二四、一〇
満毛	一四、二〇	一四、二〇
優先	一七、四〇	一七、四〇

●中元の御贈答品色々
各種タバコセット
洋酒、洋煙草、罐詰、シロップ類各種
是非新京百貨店
土產品部へ
電話三一六一番

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊　夕朝刊共十二頁

本紙一部五錢 一ヶ月一圓 定價… 廣告料 普通一行一圓三十錢 特別二圓五十錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 水越内之介

關東軍々屬拉致事件

滿洲里の外蒙代表に

關東軍、滿洲國外交部から

四日正式に抗議

滿洲國の依囑を受けてハイラステンゴール附近の山中において測量中の關東軍測量班犬養測量手らの拉致事件は其後外蒙側より自發的に犬養測量手のみは返還するところあつたがその間外蒙兵の滿洲國領內不法越境、軍屬の不法拉致、日本國旗の冒瀆或は文字不明の書面に强制的に署名せしめる等日本軍に對する侮辱行爲は枚擧に遑なく外蒙側に一片の誠意の見るべきものなく、滿洲國外交部および關東軍は四日在滿洲里外蒙代表に對し正式抗議を提出したがその內容につき五日午後六時次の如く發表した

外交部發表

＝關東軍司令部及び滿洲國外交部は七月四日在滿洲里外蒙代表を通じ外蒙政府に對し犬養測量手拉致事件に伴ふ外蒙兵の滿洲國領內不法侵入並に日本軍に對する侮辱事件に關し正式抗議を提出した、抗議內容は今次の事件は元より將來に亘りこの種紛爭の保證並に擴大豫防の見地より滿蒙兩國は常に友好的關係を保持せんことを重要視したもので外蒙政府にして誠意を有するなら容易に解決せられるものと確信する

なほ當地方は交通、通信不便のためこれが回答を得るまでには少くとも十日以上を要するものとみられてゐる

北支開發機關設立案

滿鐵改組案と併行審議せん

急速の實現は困難

【東京國通】紛爭解決後の北支地方の產業開發、經濟提携貿易振興等に關しては過般の土肥原少將の北支當局との會談に於て或る程度の諒解成り日支の協力を原則とする大體の方針を決定した模樣であるが軍部方面としては北支地方に於ける反日的機關及び分子が掃蕩され親日方針が確立された以上今後同地の產業開發經濟建設には日本の民間關係資本の積極的進出により日支提携の實を結ばんことを期待してゐる、然しながら民間資本の進出は北支方面の政治情勢の確固たる見透しがなほ困難であるため望み薄の有樣で容易に實現されやうにもなく從つて急速に提携工作を推進するためには國策としてこれが根本方針を決定、滿鐵の如き機關を創立してこれに當らしめるか、若しくは滿鐵自身をして北支開發の使命を遂行せしめるかのいづれかを選ぶ必要がある、然して滿鐵をしてこの使命を負擔せしめるには現行の如き機構を以てしては不充分であるから根本的改組を加へる要があり旁々滿鐵改組は北支經濟、產業開發の見地から當面の問題として檢討さるべき形勢にある、かくて北支開發機關の設置案は目下中央及び現地の關係當局に於て愼重考究中であるから遠からず具體案の決定をみ、滿鐵改組案と併行的に審議されるに至るものと觀られる

委囑された滿鐵

北支經濟調査團組織

【大連國通】北支の時局鎭靜により經濟建設期に入つたが北支に於ける經濟產業調査報告がないため滿鐵では委囑を受けて之が調査を行ふに決定し、調査部長の決定を俟つて直ちに一大調査團を組織して北支におくる事となり、之が準備のため東亞課長內海治一經濟調査會第六部主査野中時雄兩氏は五日午前十時出帆の天津丸で約二週間の豫定で北支に赴いた

なほ之が調査は交通、港灣、農工、鑛、畜產等凡ゆる部門に亘り先づ交通、港灣が第一に着手されるものとみられる

中央常務會議で

新生事件對策協議

【南京五日發國通】中央黨部では四日朝上海より歸京せる外交部次長唐有壬氏を迎へて中央常務會議を招集し葉楚傖何應欽氏以下中央黨部要人出席重要協議を行つた、先づ唐有壬氏から新生不敬事件の經過、有吉大使の會見の內容、上海在留日本人の憤激等を詳細に復命した後、同問題に關する黨紹維、陳儀、張群氏らとの協議の內容をも報告しこれを中心として討議したが甲論乙駁結局何等の具體的決定をみずして散會した

西南派武將

近く廣東で

大同軍事會議開催

【廣東五日發國通】六月中旬西南派の特使として中央に派遣された廣東第四集團軍參謀長葉琪氏は去る一日廣東に歸來した、確聞するに今回の中央との交渉は全然失敗の模樣で陳濟棠、李宗仁兩氏は葉琪氏の詳細な報告により蔣介石氏が西南問題解決に近く乘出すものと認め急遽廣東、廣西の各武將を招集、廣東に於て西南軍の大同軍事會議を開催するに決定したものゝ如くである、尙省外にある反蔣代表も續々來東し形勢は俄然重大化するに至つた

汪精衛氏

飜意す

【上海五日發國通】去る三日外交部次長唐有壬氏に托して中央に辭意を表明した行政院長兼外交部長汪精衛氏は中央の懇篤なる慰留に接し辭任を飜意した

エチオピア皇帝

米國政府に縋る

ケロッグ不戰條約を援用

【アヂスアベバ四日發國通】エチオピア國皇帝は遂にケロッグ不戰條約を援用、米國政府の介入斡旋を要請するに決定四日アヂスアベバ駐劄米國代理公使ジョージ氏に對し要請通牒を手交した

伊太利態度强硬

提督會議で重要協議

【ローマ四日發國通】東アフリカの風雲急を告げつゝある折柄、イタリー海軍提督よりなる最高諮問委員會は四日極秘裡に某所に開催、イタリーエチオピア開戰の場合にイタリー海軍がとるべき方策につき協議中、折柄右提督會議には特にムッソリーニ首相も出席親しく海軍將星の謀議に參劃して居たと傳へられるが、右會議に於ては英獨海軍協定に對するイタリー政府の回答も審議された模樣である尙エチオピア問題に對するイタリー政府の强硬方針に對して英國政府が經濟封鎖をもつて之に對抗しあくまで戰爭阻止を圖る方針だとの報道に對しイタリー政府當局は少しも恐れぬと言明强硬態度をとつてゐる

英佛對策協議

平和的解決に努力する意向

【パリ四日發國通】パリ駐劄英國大使クラーク氏は四日午後ラバール外相を訪問し三日の英國閣議の決定に基き伊太利、エチオピア兩國紛爭に關する英國政府の方針を傳へフランス政府の協力を要請したと傳へられるが、フランス政府としては佛伊兩國間に現存する友好關係を阻害しないことを條件に紛爭の平和的解決に努力する意向と解されてゐる

◇……滿洲國初代大使謝介石氏信任狀捧呈

財政部佈告一覽

產業の發展めざし

營業税法の

改正に關する要領

財政部では各省區々にして課税標準および税率の均衡を欠き不合理であつた從來の營業税法を改正して七月一日から新營業税法を制定實施したが五日佈告第六號として新營業税法の要領を國民一般に知らしめるところあつた

從來の營業税制度は建國前の制度を暫行的に踏襲せるものなるが爲舍に課税標準及税率全國的に統一せず地域を異にするに依りて課税負擔の均衡を缺き且各種營業の間其の權正を失したるのみならず制度全般に亘りて不合理なる點甚だ尠からざりしを以て本部は之が改正の必要緊切なるものありと認め鋭意專心其の準備を急ぎ新に營業税法及法人營業税法を制定公布し七月一日を期し全國一齊に之を實施することとせり將來營業の課税は全國的に負擔の公正適實を得べく課税に關する官民相互の手續も亦簡單と爲り國運の進展と國民經濟の發展とに寄與する所甚し大なるものあるべしと信ず仍て玆に其の要領を佈告して一般に知らしむ商民は宜しく新制度制定の趣旨を理解し若し詳細なる點に付疑義あらば税捐局に就き之を質し苟も納税上過誤あることと勿れ

貨物税廢止

一般商民の利便多大

財政部では今次の貨物税の撤廢等に關し、去る七月一日佈告第七號財政部大臣の名をもつて左の如く發表した

不合理又は負擔過重なる租税を全廢し又は輕減すると共に煩瑣なる課税手續を合理的に簡單ならしめ經濟取引の發展を促して國民生活の安定を圖り以て國礎を鞏固にするは滿洲國建國以後政府の終始一貫して採り來れる租税政策なりとす、本部は貨物税が國內產の凡ゆる貨物に對し課するものにして課税負擔輕からざるのみならず其の性質上課税取締に關する手續複雜を極め爲に商民の經濟取引の敏速を阻み延いては國內產業の發展をも害すること尠少ならざるものあるに鑑み勅令を公布し七月一日より全國一齊に之を廢止することとせり之に依り今後商民は從來貨物税を課せられたる貨物を賣買又は運送するに付多額の課税負擔を免ぜらることとなるべきのみならず、國內產貨物及輸入貨物の賣買取引に付税票、運照、放行單、運單等の所持其の他の課税取締を受くるの要なきこととなるが故に迅速に取引を爲すことを得べく貨物税の廢止に因り商民の享くる有形無形の利益は蓋し甚大なるものと信ず玆に本改正の要領を佈告して一般に知照せしむ

要領

一、七月一日より徵收を廢止したる貨物税の税目

奉天 出產税、銷售税、用紙特別税、商船保護費

吉林 山海税、土產税、木炭税、石税、硝捐、網課税

黑龍江 山貨皮張税、柴柳税

木炭税、糧域税、麻税、石税、香油税、豆油税、黑蘇油税、麻子三合油税、樺皮油税、松油税、油税、豆餅税、皮硝税、白條猪税、羊草税、猪羊腸税、出境牛肉税、鷄蛋税、魚税、魚網税、骨殖税、貨利税、酒運銷税、

熱河 貨物税

船捐、木炭捐、漁税

二、七月一日後出產糧石税を課することとしたるもの

落花生及棉實には從價百分の二、五の税率に依り出產糧石税を課す但し康德二年六月迄は從價百分の一、五の税率に依り課税す

北滿特別區の

營業法改正及び

貨物税全廢施行

財政部では七月一日附佈告第八號をもつて北滿特別區における左の如き營業税の改正並に貨物税の全廢を施行した

從來北滿特別區內には特殊の税制を施行し北滿特別區公署の警務處及同行政處に於て之が賦課徵收を管掌し來りたる處右税制中には國税中の貨物税、營業税、酒税等と重複するもの多く且他の地域に比し其の負擔較重なるを以て貨物税の全廢等と相俟て本年七月一日以降左の租税の賦課徵收を廢止し以て右特別區に於ける税制を整頓すると共に租税負擔の輕減を圖ること、爲したり之が爲商民の享くる利益の尠少ならざるべきを信ず玆に本整理の要領を佈告し一般に知照せしむ

要領

第一 七月一日より賦課徵收を廢止したる税目

一、糧捐、二、草捐、三、谷草捐、四、稻草捐、五、魚捐、六、酒捐、七、屠宰捐、八、石灰捐、九、石料捐、一〇、船站捐、一一、車站捐、一二、脚行捐、一三、犁捐、一四、修路捐、一五、電影園捐、一六、戲園捐、一七、攤床捐、一八、俄妓館捐、一九、俄妓女捐、二〇、滿妓館捐、二一、滿妓女捐、二二、電燈捐、二三、營業捐、二四、營業執照費、二五、廣告捐、二六、糖衛捐、

第二 存置する税目

一、車捐、二、船捐、三、房地捐、

納税獎勵規定

制定實施に就て

租税は國家活動の財政的基礎であり納税は國民の重大なる義務であるが國民意識の覺醒と納税觀念の涵養を圖り併せて納税成績の向上を期する爲適當なる措置を講ずるの必要あるを以て今後財政部に於ては納税獎勵規定要綱を定め各税務監督署に訓令して獎勵規程を制定せしめ納税思想の普及徹底を計る事となつた

尙本獎勵は差當り內國税中の田賦に付て行ふのであるが漸次他の國税に對しても適用する筈で要綱は左の如くである

納税獎勵規程要綱

國税の納税を獎勵する爲團体表彰と個人表彰とに分ち次の標準に依り税務監督署に於て表彰規程を制定實施す

一、團體表彰

區村又は保、甲、牌等の團體に對しては其の應納税額(差當り田賦)を一ケ年以上完納(納期中に納付したるもの)したるとき縣、旗、市長の稟申に基き監督署長名を以て表彰狀に添へ百圓以下の獎勵金を交付することを得完納に至らざるも納税成績著しく向上し改善の跡顯著なる場合は右に準じ表彰することを得

二、個人表彰

1、縣、旗市公署催徵員、區長、村長、保長、甲長、牌長其の他一般衆中特に納税に關して盡し其の功績顯著にして他の模範となすに足るべき者に對しては縣、旗、市長の稟申に基き監督署長名を以て表彰狀に添へ五十圓以下の獎勵金を交付する事を得

2、納税者が其の應納税額(差當り田賦)を滿三ケ年以上に亘り繼續完納(督促を受くる以前に納付したる者)したる者に對しては縣、旗、市長の稟申に基き監督署長名を以て表彰することを得

完納繼續長期に亘り特に他の模範となすに足るべき者に對しては表彰狀に添へ三十圓以下の獎勵金を交付することを得

新京の福祉委員制度、きのふ漸く創設式を擧行した、滿鐵として始めての試みであるだけに吾等は一層新委員諸君に對して大きな期待をかけるものだ▼いつかも述べたやうにこの制度も第一に委員にその人を得ることだ、まづ心から哀れな人々を救ふ心掛、それに足まめ小まめに動いて貰はなければならぬ▼新委員の顔觸れを見るといづれも新京の有力者ばかりでそれに區長さんとして各町內の事情にも通じてゐる人々だ、この點吾々は安心して御苦勞を願ふわけだが▼なか〳〵區長さんの仕事も近頃隨分多い、しかも名譽職とはいへ物質的には惠まれるところは甚だ少い、何か事あらば自腹を斷つて出かけなければならぬ始末だしこの點特に吾々市民は感謝してよい▼本年度は公費一率二割方を値上げする、經費の膨脹はわからぬでもないがそれだけでは引上の理由にはならぬ、經費は年々膨脹してゆくに違ひないそのたんびに値上げされては堪らない▼近頃いろ〳〵寄附名儀の個人の負擔はかなり多い、今度の値上は萬止むないとしてもこの際當局者は充分考へるべきだ

人事往來

▲戶田忠雄博士(滿洲醫大敎授)五日午後通過奉天へ
▲中村少佐(陸軍省軍務局課員)同來京名吉屋ホテル投宿

航空往來

▲齋藤謙太郎氏(會社員)五日發ハルビンへ
▲藤竹久男氏(同)同
▲古澤幸吉氏(同)同
▲山口柳川郎氏(大連會社員)同
▲小島精次郎氏(大阪海洋火災保險會社員)同ハルビンから
▲倉橋右介氏(ハルビン)同
▲佐藤道男氏(交通部)同
▲吉賀統一氏(ハルビン森岡洋服店員)同
▲和氣静男氏(新京官吏)同

社說

滿支兩國の對外貿易
この三年の顯著な傾向

一

滿洲國建國三ヶ年の對外貿易は、新國家としてのあらゆる部門における建設工作の發展を象徵してゐると言ふことが出來る。その顯著な表現はこの三ヶ年における支那の對外貿易の狀態と比較對照するときに、特に明らかに滿洲國の諸建設の躍進を見ることが出來る。すなはち一九三二年と一九三四年とを比較するに滿洲國の輸出二七%減、輸入九七%增、輸出入合計一四%增であるのに、支那の輸出は三〇%減、輸入三七%增、輸出入合計三四%減であつたのである。滿洲國の對外貿易はその建國第三年において增加へと轉じ來つたのに、支那の對外貿易は一路衰退への歩みを續けて居り、好轉回復の認むべきものがないのである。

二

上述した數字は貿易の價額についてであり、われらは更に數量と品目とについて見ねばならぬ。滿洲國の主要輸出品は大豆を首位に置き、豆粕、石炭、粟、石油、落花生、銑鐵、他の豆類、混合飼料、柞蠶糸、高粱、綿織絲等の順位を示し、一般に建國前より增加、ただ大豆とその製品は不振となつてゐる。しかしこれは他の商品によつて補はれようとしてゐる。支那の輸出品目は動物及びその製品が首位を占め、紡織纖維、織絲編絲、レース製品、茶、油、綿布等の順位である。

三

滿支兩國間の貿易關係が正常化するときには、滿洲國の對外貿易額が更に增加すべきことは明らかである。而して支那は低廉に滿洲國から必要物資を購入することにより、また支那生產品を供給することによつてその對外貿易增進に大きな利益を受けるであらう。昨年來支那側の對滿貿易抑壓策も餘程緩和されて來たため、滿洲國の對支輸出も良い條件を得るに至つた。今後の輸出の增進は大いに期待されるところである。一方滿洲國は新國家として豐富な支那品の消化力を有するのであるから、支那政府の銀政策がこれを阻碍することさへなければ、支那品の滿洲國への供給が增加し、それが現在の貿易不振を除く有効な力となるであらう。但し滿洲國銀貨と比べて甚だしく高位に在る支那銀價の現狀を以てしては支那品の對滿貿易が決して順調であることが出來ない。

四

要するに將來への見透しとして、滿洲國の貿易品が過剩原料の輸出と新商品の輸出とに變り、その輸入は國内に產せぬ原料や高級生產品に變るであらう。支那の對外貿易は落潮滔々たるものがある。ただ高率關税に庇護された輕工業の發達がある、但し一方に國民の負擔を加重しつゝだ。

飢餓線を彷徨ふ 在滿鮮農約四千
東亞勸業を通じて 一萬七千餘圓の救濟費支出

【京城國通】奉天省鄭家屯附近で水田經營に從事する鮮農約四千は最近高粱、粟等の雜穀が昨年に比し極度に暴騰した爲收穫期までの食繼ぎ費にも窮し、目下飢餓線を彷徨してゐるので、本府外事課では應急對策として東亞勸業を通じ約一萬七千圓程度の救濟費を支出することになつた

園公は當分 御殿場に銷夏

【淸水國通】興津坐漁莊に悠々自適中の西園寺公は兩日來俄かに暑さが增して來たので七日午後十時卅九分興津發御殿場の別莊に當分避暑することに決定した

颱風警報に 大騷ぎの東京

【東京四日發國通】こゝ數日來東京地方は蒸し暑い空梅雨が續いたが突如四日朝中央氣象臺から颱風警報が發せられ文部省から東京府下及び神奈川、千葉兩縣の各小學校に對し過般の大阪地方の慘禍に鑑み萬遺憾なきを期する爲授業に拘泥する事なく適宜早退を行ひ適當の方法を講ずる樣訓令が發せられる等東京全市民も暴風襲來に備へて警戒看視に入つたがその後颱風の進路かわり房總の一部が颱風圏に觸れたのみで北東に外れ帝都其他東京府下神奈川縣及び千葉縣の大部分は何れも颱風の危機を脱した
尙房總半島では强風に加はるに豪雨あり漁船の遭難が氣遣はれてゐる

海外ニユース

寫眞は英國海軍艦上戰鬪機の壯烈なる渡洋演習

滿洲國 屠宰場法 けふ公布さる
食用肉の良否も判然鑑別

屠宰場法は去る廿四日國務院會議に於て決定六日勅令を以て公布されたが滿洲國は氣候風土習慣の特異性により食用肉の需用頗る多く從て其の取締の適否は直接國民の保健に影響すること甚大である、食用肉に關する衛生法は舊軍閥時代より警察に於て其の取締法規既に制定されてゐるが該法規は全く有名無實徒らに徵稅をなすのみで殆んど其の本旨を忘却してゐる狀態である即ち獸畜の屠殺は隨時各處に於て行はれ尙ほ且不良劣等の腐敗せる肉を販賣せるもの有るため之を食せる人々は往々獸疫に傳染し國民保健上妨害甚大なるものがある、從來食用肉の良否は賣出後に鑑定せしため其の鑑定法も宜しきを得ざる狀態であつたが今後は屠宰前に其の生體を檢査して獸疫の有無を確め屠宰後解剖の時更に詳細に良否を鑑別し食用に供する方針である

屠宰場法

第一條　本法に於て屠宰場と稱するは食用に供する目的を以て獸畜を屠宰する場屋を謂ひ獸畜と稱するは牛、馬、騾、驢、緬羊、山羊及豚を謂ふ

第二條　地方團体に非ざれば屠宰場を設立することを得ず

第三條　地方團体にして屠宰場を設立せんとするときは省長の許可を受くべし

第四條　省長必要ありと認むるときは民政部大臣の認可を得て屠宰場の設立を地方團体に命ずることを得

第五條　地方團体は省長の認可を得るに非ざれば屠宰場を廢止することを得ず

第六條　省長必要ありと認むるときは屠宰場の設備の變更を命じ又は取締上必要なる命令を發することを得

第七條　省長衛生上危害を生じ其の他公益を害するの虞ありと認むるときは屠宰場の廢止を命じ又は其の使用を停止することを得

第八條　屠宰場以外の場所に於ては食用に供する目的を以て獸畜を屠宰解体することを得ず但し特別の事情ある場合は命令の定むる所に依る

第九條　屠宰場に於ては屠畜檢査員の檢査を經ざる獸畜を屠宰解体することを得ず屠肉、内臟其の他食用に供する部分は屠畜檢査員の檢査を經るに非ざれば屠宰場外に搬出し又は製造の用に供し若は貯藏することを得ず

第十條　本法中省長とあるは首都警察廳管内に在りては首都警察廳總監、哈爾濱警察廳管内に在りては哈爾濱警察廳長、北滿特別區に在りては北滿特別區長官とす

第十一條　第七條の使用停止の處分又は第八條本文若は第九條の規定に違反したる者は三月以下の有期徒刑又は三百圓以下の罰金に處す

第十二條　使用人其の他の從業者にして其の使用主の業務に關し本法又は本法に基きて發する命令に違反したるときは該違反者を罰する外其の使用主をも處罰す但し其の使用主禁治產者又は營業に關し成年者と同一能力を有せざる未成年者なるときは其の法定代理人を處罰

第十三條　法人の使用人其の他の從業員法人の業務に關し本法又は本法に基きて發する命令に違反したるときは該行爲者を罰するの外業務を執行する社員又は役員をも處罰す

第十四條　第十二條及前條第一項の場合に於て處罰を受くべき使用主法定代理人、社員又は役員が當該行爲を防止する途なかりしことを證明したるときは之を罰せず

附則

第十五條　本法は公布の日より之を施行す但し旗制を施行する區域には當分の間之を施行せず

第十六條　省長は當分の間特別の事情ある場合は第二條の規定に拘らず民政部大臣の認可を得て地方團体以外の者に屠宰場の設立を許可することを得

第十七條　本法施行の際現に存する屠宰場は本法施行後三年間は第三條又は前條の規定に依る許可を受けたるものと看做す但し從前の法令に依る許可期間本法施行の日より起算し三年に滿たざるときは其の期間に依る

第十八條　地方團体に於て屠宰場を設立したるときは省長は必要と認むる地域内に於ては第十六條の規定に依る屠宰場の廢止を命ずることを得

第十九條　屠宰場を設立したる地方團体は前條の規定に依り廢止を命ぜられたる屠宰場經營者に對し屠宰場廢止の爲受けたる損失を補償すべし

前項の規定に依り補償すべき金額は協議に依り之を定む協議調はざるときは鑑定人の意見を徵し民政部大臣之を決定す

食料品組合役員

新京食料品組合の結成式は既報の如く四日午後六時半から記念公會堂において擧行された・杉尾正一氏議長席につき組織準備の經過報告、規約草案の審議を終へて役員の選擧に入つたが互選の結果左の諸氏に決定した、なほ組合員の總數は五十七名である

組合長　松尾正一
副組合長　三浦忠夫
同　遠藤才次
會計　德本長松
同　米田精助
幹事　西村長之助　森川好秋　三浦正夫・麻生磯平　塚本喜六　岡本勇次郎　垣田太治馬　柳田三郎
相談役　尾本富三郎　堀川德太郎　淺野勝太郎　西村清兵衛
顧問　福田右一　石崎廣次郎　久米吉次

エチオピア紛爭に 英國態度決定

【ロンドン三日發國通】英國政府は三日の閣議でエチオピア國境紛爭に關する對策を協議したが結局聯盟の原則を貫徹するに意見一致した

疲れた老大陸― 歐洲政局の危機（四）
F・H・サイモンズ

尤も一九三五年ヒトラー氏の立場は、一八一四年のナポレオンの場合と全然同一視すべきではない、獨逸に對する歐洲の協調は、ナポレオンに敵對してシヤーモン協定を締結せしめた程に强固なものではないヒトラー氏が英國を佛國から引離し、佛國を赤露から離反させやうと企圖するのは無理のないことであらう、又伊太利と小協商國等との調當ルを利用し度がるのも肯かれることである、併し彼の行動に依つて、歐洲諸國は既に脅威を感じてゐるのであるから、近く更に食指を動かすやうであれば列國は必ず團結することにならう

ジエネーヴの空氣が、ウイルソンの平和主義からメッテルニヒの覇道主義に變じ、國際聯盟そのものが神聖同盟に逆轉せる事も留意せねばならぬ、それ故若し列國が一体になつて、ドイツの屈服を企てる際には、聯盟の支持は之に法律的效果と、道義的の色彩を與へる事になる、右はドイツが聯盟を脱退した當然の成行きであつて、今後は聯盟の諸機構は常にドイツ壓迫の具に供せられるであらう

ヒトラー氏は其の著「余の爭鬪」に、思ひ切つた獨乙の更生案を掲げてゐるが、それは數個の歐洲國家の分割と、列國全部の安全を脅かさずには實現出來ないものである、今迄彼は大体に於て自己の腹案通りに行動して來たが、例外としては佛、波兩國に關する態度の變化がある、彼はフランスがダニューブ及ウクライナの問題から手を引く代りに欣んでその安全保障の方針を採用するものと思はれる、これはフランスと與ふのは結局英國と戰はねばならぬことを認識せる場合である

ドイツの事情さへ許せば、ヒトラー氏はその對外發展策が思ふ樣に實現し得ないまでも國内での成功を望んだであらう、ムッソリーニ氏は戰爭の危險を冒さずに、偉大なる行政的事績に因て歷史上の人物たるに至つた、之に反してヒトラー氏は戰爭を賭しても自己のドイツ更生策を實行するに非ざれば不遇を嘆ずるであらう

ヒトラー氏の提起した問題には、經濟的方面と主義上の問題との兩面がある、由來ドイツは世界第二位の產業國であつたが、今では國内の大切な資源中で單に石炭を保持してゐるだけである

（註）筆者は米國における歐洲問題の權威である
（米誌カレント、ヒストリイ六月號所載）

福岡縣洪水被害 二千萬圓

【福岡國通】福岡縣下各地の洪水による被害は四日縣より發表されたが、總被害額は一千七百三萬五千四百五十一圓で此ほか鑛山方面の被害も甚大で總被害額は實に二千萬圓に達する見込みである

東郷氏經過良好

【東京國通】去月中旬自動車で衝突して重傷を負ふた外務省歐亞局長東郷茂德氏は其後の經過頗る良好で殆んど全快したが、なほ大事をとり轉地療養のため三日湯河原に赴いた、四、五ヶ月間同地で療養の上來春匆々より登廳の豫定である

水栓の需要 舊に復す

水栓の滿洲需要は最近漸く舊に復し相當旺盛を極めてゐるが特に注目すべき現象として昨今哈爾濱以北の奥地地方からの滿人商人を主なる取引先として從來の百個、二百個程度より一躍四百、或ひは五百個と大口の注文增加あり奥地の將來需要に多大の期待がかけられてゐる、これについては滿洲國の中央部地方の建設工事の一段落が重大な影響を及ぼしたものとして、この點奥地方面今後の衞生水道工事に非常な注目が拂はれてゐる

商況欄（七月五日後場）

金銀市況

●上海標金　前引 [illegible]　高 [illegible]　安 [illegible]　後寄 [illegible]　歩 [illegible]

●大連金鈔票　現物寄付 [illegible]　引 [illegible]　高 [illegible]　安 [illegible]　出來高 [illegible]
七月三十日限　寄付 [illegible]　歩 [illegible]　△七月二十八日限 [illegible]
出來高 [illegible]
●大連鈔票鎭大洋　現物 [illegible]
●奉天國幣對金票　現物 [illegible]　▲七月十三日限　寄付 [illegible]　引 [illegible]　高 [illegible]　安 [illegible]　出來高 [illegible]

爲替相場

上海爲替
▲日本向　第一回賣買 一三六、二五〇　一三六、七五〇　第二回賣買 [illegible]　第三回賣買 [illegible]
▲倫敦向　第一回賣買 一志七片一四分一　一六分五　第二回賣買 [illegible]　第三回賣買 [illegible]
▲紐育向　第一回賣買 三九弗八分五　四分三　第二回賣買 [illegible]　第三回賣買 [illegible]

大連爲替
上海向　一〇八、四〇　一〇八、七〇　一〇八、二五　一〇八、五〇　一〇八、六〇
▲紐合向　出來不申
▲阪神日米爲替　第一回買 不變
▲阪神日英爲替　第一區賣買 不變

株式相場

▲大連株式（短期）寄
五品新 [illegible]　豆新 [illegible]　鈔新 [illegible]　東新 [illegible]　日產新 [illegible]　鐘新 [illegible]　滿鐵新 [illegible]　二新 [illegible]
▲奉天株式（短期）寄 引
滿電 [illegible]　東新 [illegible]　鐘新 [illegible]　日產新 [illegible]　大新 [illegible]　五品 [illegible]　豆新 [illegible]　電甲 [illegible]　同乙 [illegible]　滿鐵新 [illegible]　二新 [illegible]　東拓 [illegible]　東重 [illegible]　日普 [illegible]　滿興 [illegible]　滿毛 [illegible]　滿電 [illegible]

●哈爾濱大豆　七月限 [illegible]　八月限 [illegible]　九月限 [illegible]
●同小麥　七月限 [illegible]　八月限 [illegible]　九月限 [illegible]

手形交換（三日）

金票 [illegible]　鈔票 [illegible]　銀幣 [illegible]

北滿

家屋拂底の哈市に新家主登場す
住み手のない鐵路局宿舍
遂に市民に開放？

【ハルビン支局發】久しい家賃地獄の哈爾賓に六月廿三日をもつて舊北鐵滿蘇從事員居住の宿舍三千六百四十九世帶が十五萬八千九百五平方米の敷地とともに投げ出され完全に鐵路局の財産になつた譯である、蘇聯人の住んでゐた一千八百六十九世帶と滿人宿舍も國鐵の手に移つて維持費も修繕料も出なくなつたので宿舍を出て轉居するもの續出の有樣である、故に滿人宿舍も次第に空屋組の仲間入りをしてゐる

日系從業員も滿人同樣の理由から宿舍に入りする者少く僅かに課長級が宿舍入りをしただけである、市内の家屋拂底に反して茲許皮肉な現象を呈してゐる、で從業員で居住希望者がすくないとすれば何とか之が處分方法を考えねばならぬ、目下研究を續けてゐるが家屋難に喘ぐ市民に開放して賃貸し營業を始めようといふのだが哈鐵の計畫が果してうまく圖に當るか否か多大の興味を呼んでゐる

古代樂器で ハルビンの對日放送

【ハルビン國通】ハルビン放送局では六月廿三日の對日放送にキタイスカヤ街より國際情緒豐な街頭實況を放送し、内地ラヂオファンより多大の好評を博したが、今月は一段と工夫して廿一日午前十一時五十分より零時廿分までロシア民謡研究家として知られてゐるウクライナ人リツコ、セベリニユークシニイライ氏の古代ロシア樂器バンジユーラにフリユートの伴奏でウクライナの民謡その他數曲を放送する事となつた、なほバンジユーラはハーブに似た樂器で今はそのプレーヤーも殆ど見當らないといふ珍らしいものである

松花江對岸に臨時救護所設置
—赤十字哈市支部の企て—

【ハルビン支局發】日本赤十字社哈爾賓支部では夏期保健を目指して松花江對岸に出掛ける人達の不時の災害傷病を救護するため五日より八月中旬まで右對岸に天幕張りの臨時救護所を開設し應急救護材料を備へ看護婦並に事務員等を派遣し萬一の場合に當らすこととなつた、尚ほ右救護所の時間は平日午後一時より午後六時まで日曜休日は午前十時より午後六時までゝある

松花江の船車連絡開始

【ハルビン支局發】多年の懸案であつた松花江と國有鐵道滿鐵社線との船車連絡貨物運輸は七月一日から實施、これと同時に混合保管制度をも併せ行ふこととなつた、これにより荷主は河川鐵道を通じた保管證を受取り三十一日間の責任期間内に授興され、混合保管料一車につき十三圓を七圓に減額されるが、船車連絡運輸は他に見ない最初のものでこれにより荷主の受ける利便は多大のもので之が成果は期待されてゐる

舊北鐵從業員の最後的引揚げ
又もや好景氣に潤ふ キタイスカヤ街

【ハルビン國通】舊北鐵ソ聯從業員の引揚げ輸送は去る六月廿八日より最終的に本格的輸送を開始され、毎日午前午後二回に亘つて一日平均百卅家族四五百名が本國に引揚げてゐる

彼等が今回引揚げによつて、しこたまふくらませた懷中からハルビン市内に落し行く黄金はざつと四五百萬圓と算せられ近年不況にあえいで居たキタイスカヤ街邊りでは何十年來の好景氣を見せ、秋林洋行の如き、一日の賣上げ高五萬圓と言はれて、この所盆と正月が一緒に來た樣にホクホクの態である

その引揚狀況

【ハルビン國通】舊北鐵ソ聯從業員の六月卅日現在に於ける引揚狀況は概略左の如くである

輸送計畫前に於ては四月七日クヅネツオフ一行を乘せた一ヶ列車運行をトツプに引續き同十四、廿三、廿六日に各一ヶ列車、五月十九日ルデー局長一行引揚の一ヶ列車を殿りとして以上引揚げ從業員數は約一千名である、五月廿日より愈々輸送計畫に基いて運行開始されたもの

一、五月廿日より六月二日迄ハルビン管内の從業員三分の一輸送
一、六月四日より同十五日まで濱綏線從業員輸送
一、六月十六日より同十八日迄京濱線從業員輸送
一、六月十九日より廿九日迄濱洲線從業員輸送
一、六月廿八日よりハルビン管内機部從業員（目下繼續中）

以上運行列車總數は五十五列車で豫定計畫より十四列車が節約されてゐるが輸送人員は計畫通り本人三千五百人 家族八千五百人總計一萬二千といふ成績を擧げてゐるがハルビン管内殘部のものは本人二千名家族五千六百で總計七千六百名である

以上各沿線引揚從業員の中滿洲國に殘留するものは二割五分乃至三割程度でハルビン管内では約二割見當と見られてゐる

路警の横暴
杜署長等を毆打

【ハルビン國通】去る二日午後三時頃濱綏線二層甸子警察署杜署長、張巡官其他數名はハルビン病院に入院のため出發するを驛頭に見送り、通常門扉を開けて構外に出でんとした所路警一名來りてその行爲を詰つた、同署長は異常通行を認められ居るところなる故寧ろその言に對し不可解の態度を示したるに對し路警は憤激し矢庭に杜署長、張巡官を毆打し、更に小銃を擬した、そこに渡邊路警來りいきなり「馬鹿にするな」と呼ばはり更に前記兩名を毆打杜署長に全治一週間、張巡官に全治二週間の負傷を負はしめた

附近住民は逸早くこの出來事を警察署に傳へて署員一同現場に馳せつけ、あはや事態紛糾せんとしたるも幸に双方その儘分れて無事なるを得た、然るにこの事件を中心として從來現角路警の横暴を憤慨して居たところの同署管内人民は甚だしく憤慨し更に駐屯滿洲國兵も同樣の感じを持つに至り同夜路巡警士二名散歩せるを滿軍兵士五六名の中一名は突如發砲せるに警士は手をあげ自分は特區署員であると呼ばはりたるに依り兵士が射撃を中止し事なきを得た一方杜署長及び張巡官は直ちに醫師の診斷書をとり日本憲兵隊に前記路警を相手取り告訴した、依つてハルビン憲兵隊では調査のため四日午前七時發列車で係員を現場に出張せしめた

日本居留民會 事務所移轉

【ハイラル國通】當地日本居留民會事務所は來る七日舊頭道街に移轉する事となつた

東滿

圖們パルプ工場設立運動促進
産業開發への捷徑となる
最好條件山積

【圖們國通】既報圖們方面の材木業者間の觀測による人絹パルプ工場の誘致は圖們はその條件として原木の運搬流下に便なる河流が豆滿江と嘎呀河の二流が交叉する地點で最もその便に富み、同工場の生命とする水質も亦全滿中最優良と目されてゐるので是非とも安圖線、及び京圖線、圖佳線沿線の密林（杉松）の無盡藏の原木の開拓事業としてここに該工場の實現を促さうと活動をはじめたもので、税金關係等からも對岸鮮内より遙かに有利の地位にあり且つ滿洲國の産業開發の工場を滿洲國内に設置するが順當でもあり、この運動は具體化するものとみられ、實現の曉は使用原木少くとも一ヶ年六十萬石附隨事業を加算して百萬石の材木が圖們で消費される筈でこれのみでも二百四、五十萬圓の集散となり市況恢復の捷徑だと期待されてゐる

事件被害救恤金の下附申請期間

【圖們國通】日本政府が大正九年の尼港事件、以來同年の琿春事件越へて滿洲事變、支那事件等による同胞の被害救恤金として二百五十萬圓を支出することは過般の官報所報（五月二十九日號）の如くなるが、右被害該當者にして尼港事件は七月三十一日限り、滿洲事變、支那事件は八月三十一日限りその下附申請を受理する由で正副二通の申請書と戸籍謄本、印鑑證明書等を添付して領事館宛提出のこと申請に關し疑問の點は速かに最寄り領事館に照會するがよいと

長河匪撃滅

【吉林國通】敦化東北方地域に蟠居して反滿抗日の旗幟をかざし猛威を振ひつつある匪首長河の率ゐる合流匪團二百餘名大甸子に出沒すとの報に接した官地駐屯第十一團の將兵七十名は二日午後四時勇躍現地に出動折柄官地より自動車にて來援せる劉田中尉の指揮する一隊と協力して地の利を占め頑強に抵抗する匪團に猛撃を加へ激戰數刻に及んだが流石大勢の敵匪も勇敢なる滿軍の肉薄戰に支へ得ず屍体廿を遺棄して潰走した、右屍体中には嘗て搭拉站、火山嶺子自衛團等襲撃の主謀者たる同匪首領長河も混じ居り滿軍の士氣益々旺んである

盡きせぬ匪害の慘狀
農民は何處へゆく
濱江省東部地區の財政狀況

【ハルビン支局發】本紙の屢次指摘せるが如く濱江省東部山岳地帶は匪賊約二萬人が横行し反滿抗日の地區を劃し滿洲國政權の及ばざるに等しい治安の紊亂を見てゐる狀態にあり特に賓、阿城、延壽、珠河、葦河の五縣は濱江地區でも最惡の治安狀況に置かれてゐる、斯かる

狀勢

が各縣財政に深甚なる影響を與へその大部分は實に匪禍による徴税不可能に基くもので熟地面積の六割强は耕作不能に陥りてゐる慘狀を呈してゐる地方民衆の困苦は察するに余りあるものがある

斯くて匪賊のため土地を荒らされ耕作不能に陥つた農民の落ちゆく先は何處か？土地を見捨てゝ鐵道沿線に避難するか、自からも匪賊の群に投ずるか、二者何れかを撰ばなければならぬ、刈れども盡きぬ匪賊群、膺正の實をあぐれば良民の匪賊化を招來する虞なしとせぬ實に濱江省東部地區の討匪工作は當局者としても

余程

愼重を期せねばならぬ、爲政者が治安第一主義の積極方針を執らざるを得ないのも現狀としては致し方あるまい

試みに匪害により濱江省東部地區に介在せる十二縣の縣財政が如何なる影響を受けてゐるかを示せば左の如し

（A）徴税面積に及ぼせる匪禍の影響　（面積單位は晌）

縣名	熟地面積	康徳元年度徴收見込面積	治安確立後の徴收可能面積見込
賓	二六九、三二六	一〇六、九六〇	一八八、四三一
阿城	二二五、八三〇	一二〇、五六七	一五二、〇七四
五常	三七六、〇八〇	四六、六二五	二六五、三三八
延壽	一五〇、〇〇〇	一三一、五二八	一〇五、〇〇〇
珠河	七五、三〇八	三八、五五六	五三、六五四
寶山	一〇二、〇〇〇	四五、〇〇〇	七一、四〇〇
双城	四五九、二四二	三五八、五二七	三二一、四九〇
虎林	二八、五六〇	一八、五五四	一九、九九三
穆稜	一九、九九三	一四、一八四	七一、四〇〇
葦河	四八、二六〇	一〇、七六〇	三五、七七六
寧安	三三四、三三〇	四八、一九五	一七八、〇三四
東寧	五五、七六八	二二、九七四	二五、〇三八
合計	二、〇三四、四七六	七九六、九九八	一、四八一、五三七

右治安確立後の徴收可能面積は熟地面積の七割として算定されたものであるが、康徳元年度の徴税面積は、右十二縣の百四十八萬一千五百三十七晌の面積中六割强に當る七十萬一千五百七十六晌は一部水害によるもその大部分は實に

匪禍

による徴税不可能面積である且つ二百三萬四千四百七十六晌の熟地面積中、康徳元年度の徴税可能と推定された面積は七十九萬六千九百九十八晌で熟地面積の四割弱にすぎない而して右面積に立脚し之がため歳入の主要部分をなす晌捐（地税）及糧捐に及ぼせる影響を示せば左の如し

（B）主要歳入に及ぼせる匪害影響　△晌捐に及ぼせる影響

縣名	康徳元年度徴收見込額	治安確立後徴收可能見込額	比較減
賓	二一九、七九六	三一一、〇六五	九一、二六九
阿城	九六、九三〇	一一四、八一六	一七、八六六
五常	四六、六一五	二三三、二三八	一八六、六〇五
延壽	二五、五九〇	二〇一、六〇〇	一七六、〇一〇
珠河	八、〇〇〇	七五、八〇七	六七、八〇七
寶山	六九、三〇〇	一〇九、九五六	四〇、六五六
雙城	二六〇、六六一	二七四、五三七	●一三、二一九
虎林	一一、〇〇〇	一一、九九五	九九五
穆稜	一五、〇〇〇	一〇、七七五	●四、二二五
葦河	一七、二二五	五四、〇七五	三六、八五〇
寧安	一〇、〇〇〇	七三、八六〇	六三、八六〇
東寧	五五、三七八	四〇、五二一	●一四、八五七
合計	七二五、五三〇	一、五六八、〇三五	八四二、五〇五

（●印＝増一七、三四四）

註　比較減欄は治安確立後に於ける徴收可能見込額に對する康徳元年度徴收見込額の減差額を示す　單位　圓

△糧捐に及ぼせる影響

縣名	康徳元年度徴收見込額	治安確立後徴收見込額	比較減
賓	四八、四三四	七三、三六四	二四、九三〇
阿城	一〇、〇〇〇	五八、〇一二	四八、〇一二
五常	一〇、〇〇〇	四〇、四三二	三〇、四三二
延壽	二四、七〇〇	三〇、一二〇	五、四二〇
珠河	八、四〇〇	三〇、二二五	二一、八二五
寶山	一二、〇一〇	二七、四〇八	一五、三九八
双城	二〇、〇〇〇	四一、六六五	二一、六六五
虎林	七、〇〇〇	七、六六七	六六七
穆稜	四、〇〇〇	五、五五三	一、五五三
葦河	五、〇〇〇	一一、六六〇	六、六六〇
寧安	六〇、六七一	六八、三六一	七、六九〇
東寧	六、〇〇〇	九、六二五	三、六二五
合計	二二六、一九五	三八二、九七二	●四、三四〇

註　比較減欄は治安確立後に於ける徴税可能見込額に對する康徳元年度徴收見込額の減差額を示す　單位　圓

右二表に示す如く地方歳入の二大宗をなす晌捐及糧捐の二税收入に付き之を觀るに十二縣合計して治安確立後

期待

し得べき徴收見込額百七十六萬八千二十七圓に對し康徳元年度の徴收見込額は僅かに九十四萬一千七百十五圓にして實に八十二萬六千三百十二圓は主として匪禍の影響に因る歳入缺陥を生して居る狀態である

斯かる數字上に現れた匪害が如何に東部地帶の縣財政を脅かしてゐるかが諒解出來る積年の匪禍により東部十二縣の耕作面積の六割は完全に荒廢地と化した、一般地方民の擔税能力は極度に低下し

往時

に比すれば五割弱にしか當らない北滿東部農民は何處にゆく？之が復興は濱江省のみの問題ではない、中央部としてもその國是に基き積極なる注意を拂ひ適切なる對策をあやまらざらんことを希望したい

新京區公示

爾今大新京日報並ニ滿洲商工日報ヲ當區公布式登載新聞ニ指定ス

昭和十年七月四日

南滿洲鐵道株式會社 新京地方事務所長 武田胤雄

家庭で

容易に出來る脚氣の豫防法

食餌療法が一番です

脚氣は初夏に多くなることはお存知の通りですが、一度これに罹つた人は勿論未だ本病に苦しまぬ人でも豫防を講ずることが肝要である、それで家庭で行へる容易な食餌防法としては第一に俗に

米の芽 といふ部分即ち米胚芽の比較的多く（六〇％）特有してゐる所謂胚芽米を常食として副食物にはビタミンBの多いものを攝る樣にする、胚芽米は消化の點から云へば白米と殆んど變らない。第二には白米を主食として行く場合であつて此の場合にはメンザイとコゴメとかを袋に入れて炊飯の時に御飯の上に乘せて炊くと宜しい。しかし夏は

腐敗し 易いから度々炊飯しなければならぬ煩雜さは免れ得ないのである。勿論前者よりは消化は宜しい。第三の方法として白米を主食として米胚芽を別にとるといふ方法である。勿論この方法が完全に行はれると…したならば最も理想的のやうに考へられる。然らば米胚芽をどういふ風にして食するかといふ問題であるが私は米胚茅をそのまま

全成分 を少い精米にしたものを用ひ得られたとしたら最も宜しいと考へられる以上の三つの方法であるがそのいづれが國家經濟といふ大局から考へて最も適してゐるかは今後尙研究の余地がある。之等の方法が最も宜しいのではあるが、その行へない場合には次の方法を行ふ主食は白米として

副食品 の方法でビタミンBの多いものを攝る。即ち小麥粉で全穀パン、豆、野菜、果物、卵、牛乳等を多く攝る。最後に注意したいことは脚氣にかかると直ぐ粗食する人があるが、これは誤りである。ビタミンBを多く攝るといふ事と粗食をするとは別である。脚氣を治さうといふのに粗食をしてはいけない。むしろ

美食し て頂きたい。そして同時にビタミンBを多く攝つて載きたい又脚氣の豫防の目的にビタミンB劑の注射もよい

美容と工夫

夏の斷髮は 短くアッサリと

◇……夏の斷髮の肩の邊まで長くしたのは暑くるしいものですし、それにもう流行おくれでもあります。

◇……後頭部の生え際から、五分かせいぐ一寸位まで刈り込みます。頸の恰好のいい方は、生え際を自然のままにしてカールなどかけるか、耳の兩わきを少し剃り込みます

◇……頸の太くて短い方にはポイント型の方が細つそりと見せます。

松田文相苦學女學生視察　松田文相は芝公園内に設けられた苦學女性の道場文化夜間女學校を視察した（寫眞は生徒の薙刀体操を見物中の松田文相）

美味しい酢

その見分け方と 簡單な作り方

一番美味なのは何といつても米や酒から作つた酢で、美しい透明な帶黄色と酸味の外に適度の甘味と香氣をもつて居ります、酢の成分は大部分は水で、それに葡萄糖糊精に灰分、醋酸は四％です永く置いたり、栓が不完全であつたりすると酸味が抜けますが、之は酢の中に殘つてゐる醋酸菌が醋酸を酸化させる爲です

酢は汚く濁りますからすぐに見別けがつきます鹽を少し入れて密柱し冷所にお藏ひ下さい、自宅で極く簡單に作れるものですから醋酸を求めて少しづつお造りになれば宜しいでせう、醋酸四％の割で水に加へ食鹽や砂糖を舌でなめながら適當に加へて行きます

次にお砂糖少々をフライパンに煮溶して茶色にこがし、もう酢の中に入れるのです、一つ皆樣にお進めしたいのは果物酢です、苺でも林檎でも葡萄でも梅の實でも何でもかまひませんが、丁度苺が手に入りませうから之で作つてみませうクヅ苺を潰してかめに入れ、暗い場所に放つて置くとブップッと醱酵してきますから

水を加へて再び放置して置きます、食べられるまでには一寸時間がかかりますが醋酸酢等より數等美味しいこと請合ひです

むづかしい 洋裝の着こなし

下着は特に注意して

夏、着こなしのむづかしいのは、やはり何と云つても薄物ですジョウゼットの下着にサテンを召せば夜のキモノなどには光りが美しくみえますけれど、晝の物だつたら

お洗濯の樂な クレープデシンがよろしいと思ひます、下着の色は上着の色と同系統であることは勿論、いくらか上着より濃い位の色の方が上の物が浮き立つて綺麗にみえます、丈は上着より二吋位短い物であること、薄物は涼しいはずですが、下着がうるさいから結局あまり涼しいものではありません、かへつて麻とかスポンヂなどの方が涼しいかも知れません、上着が全然透けないものであつたら下着はずつと短くてもかまひません、しかし

お乳おさへや コルセットは少し暑くてもしなければなりません、此頃の樣に身にピッタリしたキモノの型では余程身に自信のある方でなければ下に着る物で注意していい形にみせねばなりません

朗らか小父さん

風ヲ引キヤシナイデシヨウカ
コレ坊、ホースニサワツチヤ可ケナイ
アエ！
貴方トメテ下サイヨ
イヽ子ダ、ソンナモノヲ持ツチヤ可ケナイ
アラ駄目デスヨ
サアコワイ小父サンガ來ルゾ、オヨシ
ウッチヤツテオキナサイヨ着物ガヌレタラ更ヘテヤリマスワ
ソーカイ、ヨ
アエ！アエ！アエ

今日の献立

（朝）△卯の花汁＝煮出汁を煮立てゝ白魚干と葱の小口切を入れ、醬油と食鹽で味加減して卯の花を入れ、二三分ほど煮立て味の素を少し加へて火を止めます

（晝）△胡瓜の葛煮＝胡瓜は皮をむき二分くらゐの小口切としてさつと茹で、鍋に鰹節と醬油砂糖に水少し加へて煮立たところへ、胡瓜を入れて味をつけ片栗粉を水に溶して混ぜ合せます

（晩）△野菜サラダ＝胡瓜は薄く小口切とし、トマトは皮をむいて適宜に切り、新馬鈴薯は丸のまゝ茹でて皮をむき一分くらゐの小口切とし、ハムは小さく切つてマヨネーズ、ソースで和へ、サラダ菜を敷いて盛合せます、△マヨネーズ、ソースは、玉子の黄味に、塩胡椒を加へてよく混ぜ、サラダ油と酢を加減よく加へます

隱元豆と生揚の甘煮＝隱元は筋をとつて、さつと茹で、生揚は六七分くらゐの角に切り煮出汁と醬油、酒、砂糖を煮立てたところへ入れて、美味しく煮上げます

女給讀本 女給さんは何處へ行く？（4）

—新京バーテン倶樂部— 田中文敏氏記

女給と云ふ職業は數年前までは昔の小料理家式の女中さんの形を新しく變へたゞけに過ぎない感がありました、口にモダーンを語り、姿に尖端を裝つても所詮は、其の心掛に於て、希望に於て、常識に於て、昔日の少料理家の女中さんの程度から一歩も出なかつたのではないでせうか？それが漸く新しい時代の空氣に馴染み、新しい

時代の教育に 洗はれて稍目覺めた今日の狀態までに進んで來たのであります、此上は更に社會事相に教養に、德育に、一般の皆さん達が全部足並を揃へて蹈み進んでやがて動く事のない健全な强固な女給道を打建てゝ永く廣く世の中の人々に盡さねばなりません、女給である事が喜ぼしい仕事であり、婦人の職業として名譽であり、人も亦あの人は女給さんだつた人だから、あんなにまで理解がある、教養がある、忍耐がある、眞に出來た人だ、好い意味の新しい時代の人だ、と云はれる樣になつて貰ひ度いものです、亦必ずそうならねばなりません、且つて女給であつたと云ふ事が

よき母となる もとであり、今女給であると云ふ事が直ぐ淑女の職業であると云ふ代名詞にまでに進み度いものです

或人は申します、女給と云ふ職業は今喧しく騷がれて居るエロ、グロ、排擊の世論に押されて早晩滅び行くものだと亦或人は申します、世界中の婦人群の根强い進出に男子の恐慌を感じさせつゝある現狀から見て當然、あまりにも當然な程此の職業は更に發展して女大臣、女市長が既にある樣に、酒場係、料理人、支配人、經營者に至るまで完全に女性の權力範圍内に移り、支配階級にまで進歩して婦人樣々になるのだと、私しは其等の說の

何れが是か 何れが非かは此處に云ひ得ませぬが、先の先の事であり今十年や亦二十年で其の變化があるとは思はれません女給と云ふ職業が進み進んで前に申しました樣に支配階級にまで移つて行くとすれば其の源を成すものは矢張り現在の皆さんの自覺であります（カットは「茶房紅ばら」の里子さん）

學藝

短歌を中心に
—六月の學藝欄を許す—
—下—
稻垣輝光

さて横道にそれ易いかな本論に入る事とする

「五月行野」（大內隆雄）

此の三首を見て作者は詩人である事が解る、短歌的境地は作者には入れられぬもののやうである、かういふ人には短歌等は窮窟なのではなからうか、線の太い所は私も喜ぶが馬鹿に溢るる力は落ち着く場所を持つてゐない、詩人畑の人が短歌を作ると大抵の場合からなりがちだ

鮮人は白雲うつす沿線の水田にして何を思ふや

ここで結句の「何を思ふや」ではたわいない

之は現代では逃げをうつた言葉ではないだらうか、「何を思ふや」その內容（之は各人種種多樣であらうが）を探求批判する精神が欲しかつた、併しこの線の太い所を掘り進めて短歌境地に入つたなら必ず新短歌の糸口を掴みだすものだと思ふ、この線の太い所には作者に期待した感がある

「初夏雜唱」（柴　九歳）

此の人は新京警察署の眞樹に寄つてゐる鈴來齊氏である事が分つた、どうも失禮、之の他「春に歎く上下」「匪襲上下」「空襲上下」と多數を發表してゐる、よく無難に歌つてゐる凡て皆同調子である、缺點がない所に缺點があるといふ作品も二三あつたしそれだけに內容は既成短歌の域を脫してゐない、併しいゝ味があるのはこの人のものだらうし作歌態度に好感がもてる

部落ちかさ青草原に眞赤なる棺がおかれて陽が照るしみら

濁り江に童子泳げりおよぎつつ追へば鵜鳥のふためき逃ぐる

對象をよく掴んで面白く歌つてゐる

家妻は病みて久しも一人向ふ夕餐の膳の酒美味からず

一人酌む夕べの酒の味氣なし妻は臥床粥すゝりつつ

對象素材に對してとりすましてゐる點がかすかに認められて其が讀者をいらだゝせる

値ぎり買ひしなつめは支那文の古新聞に包みくれたる

こんな調子も流行したのであるが淺薄感がともなつたいけない

くにきのしたといふ人は「近詠」「友を想ふうた」を發表してゐるが之などどうも困つたものだ「友を想ふうた」は啄木を眞似たのであらうが啄木の歌はそんなに生やさしいものではなかつた、又藝術する事に眞似るといふ事は自分を殺す事である、對象に制作發動のレベルを高く內容にうんと複雜性をもち、而して單純化された表現でなければ今は名歌とは云へないし發表する價値もない、內容に於ては從來の傳統づけられた短歌精神は根底から革新さるべき時代に到達してゐると私は少なくとも思つてゐる、併し之は仲々おいそれと容易に出來る仕事ではない、又それだけに仕甲斐のある仕事ではなからうか、之等の他に泉芳雄氏や杉村芳仙氏は自由律短歌を發表された、この方面の作品も着着と分野を廣め土台を築きつつあるが兩氏のものには今觸れない事にした、諸氏の作品評は余りに粗雜を極め題意にそはなくなつてしまつたが失禮の個所はお許しを願ひたい—一九三五、六、三十—

記念公會堂の經營方針私見（3）
＝基金より設備の充實を＝
眞殿星磨

又一面の見方からすれば凡ゆる公共機關は常に現在を主眼とする、小は町村の經濟より大は國家の財政に至るまで其の年度の收入を持つて其の年度の支出に當てるのを原則とする、公債を募つて負擔を將來に殘すことはしても、將來の用に供する爲金を殘すことは餘りしない、公會堂の收入の如きも、形は使用料でもつまりは市民の懷から出るものである、それに依り得べき福祉は矢張り之を負擔した市民をして享受せしむるのが正當だと信ずる、記念公會堂が將來の市民の爲迷惑になる虞があるならいざ知らず、前述の通り經營上不安がないとすれば此上基金まで添えて殘さねばならぬ義務が、現在の市民に在りとは考へられぬ、それも既に公會堂の設備が完成し、此上金を使ふ餘地がないならば貯めて置くのも結構ではあるが、公會堂には未だ〳〵改善充實しなくちやならぬ點が山程ある、市民諸君は恐らくあの公會堂の設備に滿足して居られぬだらう、あのお尻の痛い椅子丈けでも早く何とかして吳れとは絶えず聞く聲である、個々の問題について必要の有無を論ずる場合自ら意見を異にするは已むを得ないが、只公會堂が再び記念館時代の苦境を繰返すことを虞れ、夫れに備えんが爲に、必要と認むる設備をも差控え市民をして利用上の不便を忍ばしめんとする意見には私個人としては贊成し兼ねる

○

繰返して言ふ新京の現在に於て最も必要な公共機關たる記念公會堂の將來は、約束せられたる輝かしき國都の將來に對し一抹の不安もないと等しく、何等杞憂すべき理由を認めない、公會堂本來の性質よりすれば稍々邪道に近い盛んに興行に利用される現狀は決して永續するものでなく、他の劇場等の出現に依つて早晩緩和されるであらうが、其の爲公會堂經營は常道に復する迄で、決して經營難に陥る虞はない、即ち使用率が現在より半減しても優に收支は償つて行く、現在の公會堂設備は尙著しく不滿足である、幸ひ相當利益を見つゝある今の間に出來る限り改善充實を計るのが賢明な策であると信ずる

基金を募ることは必ずしも不要とは言はないか、其の爲に焦眉の急たる設備充實を後廻しとするは市民の爲計つて忠なる所以ではないと思ふ

爆撃機
長谷川海太郎のこと

谷林、牧の一人三役で書きまくつた長谷川海太郎も死んでしまつた。私は、彼が谷譲次の名で「新青年」に例のメリケン、ジャップものを書いてゐた頃、彼の私生活を知つてゐる友人がゐて彼のことを話してくれたものであつた、それによると、彼、獨身時代はなか〳〵器用な男であつて自炊生活をしてゐたが台所に巧みな装置をして鍋から茶碗一式自動的に洗へるやうにこしらへてゐたといふのである、それ以來、私はいつも思つてゐた、彼の作品は、つまり彼の台所機械化式の器用さから生れた作品であつた、と。私も大抵は彼の作品を讀んでゐるが、まあいいと思ふのは、「新青年」に書いた初期のアメリカ物とその次に歐洲まで廻つて來て書いた作品である、これらにはまことにあふるゝ才氣があり、獨自な文章の構成があつて、谷譲次はたしかに一つの世界を形成してゐたのである。

新聞小説として書かれ、映畫の大作としてもてはやされた「この太陽」「海のない港」「丹下左膳」私は何れにも感心しない、結局作り物であつたし、「新しい世界」に見せかけて彼の描くものがちつとも本質的に新しいものではなかつた。僅かに初期のアメリカ物に異色を殘したのは、彼のルンペン的實際經驗の所産であつたからに外ならない。そして後期の作品のつまらないことの根底は、彼が何ら現代インテリゲンチャとしての世界觀をも持たなかつたからに外ならぬ。彼は事實、小説職人を以つて任じてゐた。で、その點では噓は吐かなかつたと言へる職人—これは小説だけでなく、詩に、戲曲に、演劇に、音樂に、美術に、映畫に、澤山存在する型である。型といふよりも質的なものである。長谷川の場合何といふおびただしい活字の蕩積！しかもその內容の空疎なこと！これが私の結論である（川內晃）

◇ばい風會吟艸◇

雨三日薔薇は香を空しうす　堅柿
バナ、屋の所作面白き夜店かな　同
薔薇白く夕闇せまる窓にあり　十柿
白ばらの枕に落ちてうらさびし　同
薔薇の花胸にかざしてジャズの人　同
日盛の街に口向け擴聲機　麻姑
牛乳の車留きあり雞薔薇　同
垣薔薇ロシヤ女は素足かな　同
水ために馬寄り來るや日の盛　茎女
知り人に次々出會ふ夜店哉　同
紅薔薇の濃きが目に沁む疲れかな　烏秋女
ひやかせし植木か、へて夜店より　同
日盛の河原を熱く通りけり　玲瓏

對蹠的な聲樂家
—太田綾子と「ベルトラメリ能子」—

シーズンが終らうとする六月に入つて內地では色々の興味ある演奏會が開かれたがその大部分はこの春に振はなかつた聲樂的演奏會であつた、そしてそれ等の中から對照的な興味を以つて考へられるものとしては太田綾子とベルトラメリ能子との二つの獨唱會があつた太田綾子とベルトラメリ能子とは、一方はフランス系であり他方はイタリー系ではあるが、共に歌曲歌手として其の頭の良さと藝術的な樂曲把握とによつて女流歌手の双璧と考へられてゐるのであるが、太田綾子は十數人の日本新進作曲家の作品を以つて曲目を編成しベルトラメリ能子はイタリー歌曲のクラシックとレスピーギヤ、アセルラ等の現代作曲家の作品並に山田耕作等の歌曲とを以つて歸朝第一回演奏會の曲目とした その曲目の編成に於ては兩者ともその立場は異るのではあるが、そこからも充分兩者の態度をうかがふ事が出來るのである、太田綾子のは獨唱會とはいひ條その結果においては種々雜多な立場における作品の發表會を彼女が引受けたといふ作品主、歌者從といふ感を呈したのであつた、これは各作品の立場の異つてゐることも原因であらうし、又、太田綾子の理解が各々の作品と融合し得なかつた事も原因であるだらう、然し獨唱會として太田綾子を際立たせる事が出來ないで、いはば脚本の朗讀の如き觀を呈した事は、大部分後者の方に原因を求むべきで、換言すれば作品を全面的に自分のものにする事が出來なかつたからで作品は作品、彼女は彼女としての二つのものがこの演奏會を流れたからであらう、

今までの演奏會を通して見ても又は彼女に向く曲と向かない曲が劃然と區別されてゐるのを見ても彼女の歌曲理解者としての態度がわかるのである、これに對してベルトラメリ能子は對蹠的な立場にゐる、彼女は如何なる歌曲に對しても、その歌曲と自已との融合點を見出し、それを强調することによつて自分の藝術の表現としてゐるのである、或る評者は彼女の獨唱を評して完成された、然し冷い美といつてゐたが、若しも彼女の其が「冷い美」であるとしたならば各々の曲と斯程までの融合は見せなかつたであらう

暖かい愛を持つてゐることによつて、各歌曲の中へ自己を投入しそこから醱酵して來たものによつて表現する、そこにベルトラメリ能子の態度がある、此の兩者を見ることによつて演奏者の二つの型を觀るこるが出來る、即ち自已へ樂曲を引き寄せんとする太田綾子と自已を樂曲の中へ投入せんとするベルトラメリ能子とそして此の二つの態度は常に演奏家の二つの型である（鹽入龜輔）

中元贈答品と著名商品全滿案内

懸賞規定

本廣告○中の字を合すと一つの文章になります
官製端書に答案、本新聞名、住所、氏名、明記の事
賞品　壹等　金側腕時計、　貳等　萬古特製万年筆
參等　純絹靴下半打、　四等―二十等　國通シャープ鉛筆
答案〆切七月十五日、當籤發表七月三十日
宛名　滿洲國通信大連支社廣告代理部

來年度の公費は一率二割引上げ

きのふ地方委員會で承認　理由は經費の膨脹

新京地方委員會は五日午後二時から記念公會堂會議室で開催

一、昭和十一年度新京區公費諸入出概算豫算編成に關する件

を議題に供し、武田地方事務所長から

小學校の二校增設その他によつて最近經費の大膨脹を來たし、その結果明年度から公費現在一點二十錢を二十四錢に引上げるべく本社の指令に接した旨を報告し

この際かゝる二割方の引上げ、誠に不本意であるがと縷々諒解を求めるところあつた

新京區の公費は本年度既に等級において引上げを行つたことゝて事實上値上げされたことゝなつてゐるが、經費の膨脹から見て當然止むを得ないものとして承認することに一決

但しその査定に際しては特別なる事情なき限りその等級を引上げぬとの條件を附することゝなつた、なほ公費の値上げと關聯して一般市民は公費の內容にうとく、ために今度の引上げに對して疑念がないでもなからうといふので、地方委員會の名を以て說明書を印刷してこれを一般に配布し又有力者の座談會などによつてこれを徹底さすことになつた、ついで

二、戶數割中途賦課查定の件につきこの總員三百五十五名金額六千百余圓を一括して承認、ついで武田地方事務所長から西公園の利用その他につき地方委員會側の意向を聽取するところあり同四時すぎ散會した、なほ滿鐵本社の指令による來年度は新京、奉天が二十錢から二十四錢に二割方鞍山、安東、撫順は二十錢から二十二錢に一割方、開原の据置を除いて各地とも一率値上げされる筈ずである

六道河で列車とトロ激突

五日午後三時十分着敦化發列車は午前十時四十分頃六道河驛蘇穆間新京起點百七十八キロ九百メートルの地點に差しかゝつた際前方より工事用のトロ一車がまつしぐらに滑り下り同旅客列車と正面衝突、トロは木葉微塵に壞れ同列車の機關車後方炭水車二車輪が脫線し、これが復舊に約二時間要し同列車は定時より約二時間遲れ午後五時十分頃新京に到着した別に人畜の被害はなかつた

新版情痴圖繪

情夫に捲られて赤玉女給の美人局

歡樂街に色慾の痴魔跳梁

情 夫と共謀し遊客を誘ひ出し金品を捲き上げた末逃走した圖太い女給ー東一條通カフエー赤玉女給清子こと石井清子（二七）は五月女給として住込中同カフエーバーテン吉田と情を重ね割りない仲となり同僚の目もはばからずネオンの下で情痴の日を續けてゐたが男はいつしか遊蕩に耽り店の給料だけでは滿足することが出來ず女給清子に金錢を要求するので、いとしい男のために無理の苦面をして貢いでゐたが清子には自家の送金もあり、金に窮した揚句

惡 心を起し遊客を言葉巧みに誘ひ情夫と共謀し色じかけで金錢を捲き上げてゐたが最近掛つた男熱河省承德馬市街小原常夫（假名）があまりの口惜しさに新京署に訴へ出たが、それと知つた清子は身の危險を知り當局の手の廻るよりか一足先き去月三十日家人の就寝中情夫と共にいづれかに逃走し姿を晦ました、目下新京署のお尋ね者となり逃避行を續けてゐる

陸大滿洲留學生と日本娘さん

四日盛大な結婚式擧行

日滿親善結婚佳話

【東京國通】日滿親善結婚の美しい話…滿洲國陸軍砲兵將校で現陸軍大學滿洲國第一期留學生である百亨程氏と日本電機會社の栗山勝助氏二女和子孃（二三）である、百氏は昭和六年陸軍士官學校の出身滿洲事件の際には父と共に日本軍の爲めに活動した人で事變後勉學の爲め赴日し、日滿親善の爲めに是非とも日本婦人をめとらねばならぬと考へその機會を待つて居た處氏の心情を知つた友人等がその理想に感激して一肌脫ぐことゝなり、方々手を延ばして居たところ自ら選んで潔い

親善 の手を差出したのが和子さんで話は進行し去る四日結婚式を擧行したものである、當日の結婚式には渡日中の金滿洲國侍從武官が親代りとなり、謝大使代理等出席して日滿親善夫婦結合の行を盛んにした、百氏は

選んで結婚してくれて心から感謝してゐます、明春學校を終へますから歸國してからは二人で相携へて日滿親善の理想に邁進します、云々

と朗かに語つた

簡閲點呼を控へ各分會で豫行

既報、新京における簡閲點呼は七月三十日から新京商業學校で行はれるが各分會ではそれ／＼本點呼までに簡閲點呼の豫行を實施するが五日までに豫行の日時場所が決定した分會は左の通り、即ち

△第二分會來る二十日（土曜）二十一日（日曜）兩日とも午前五時からと午後五時から約二時間室町小學校講堂及び校庭で、同會員は萬障繰合せて都合のよい日時を選んで參加されたいと

△第五分會七月二十六日から三十一日まで六日間各日とも八島小學校々庭で日割は本點呼（八月八日より十三日まで）の日割順に參加されたいと

△第一分會は日時ははつきり決定せざるも七月二十日過ぎに四、五日間に亘つて室町小學校々庭で行はれる豫定

△第三、四分會は未決定

なほ豫行の時は服裝、携帶品は本點呼と同樣にして參加すること

整備を急ぐ新京驛構內

既報、滿鐵では現在新京にある列車々庫は不足を感じこれが補充のため機關區西側に現在の約四倍の收容力を有する新車庫を新設することになり本年中には完成する豫定同工事と同時に同じ箇所に修車庫及び修車線も本年中に新設される、從つて現在新京驛左脇にある新京檢車區事務所及び職場、倉庫も本年中に同じ場所に移轉さるべきであるが豫算關係でこれ等建物は來年度豫算で建てられ來年度秋までには檢車區、職場、倉庫全部移轉される

王道學會　荀子學講義

七月七日（日曜）午前九時半より新京記念公會堂第二集會室に於て

主催　王道學會

後援　新京日日新聞社

待望の保稅倉庫本年中に實現か

滿鐵で細目具體案に着手す

早くから必要を力說されてゐる保稅倉庫の設置については滿鐵では着々これが實現を期して調査を進めてゐたが、此程漸く完了したので、本年中には實現せしむべく細目的具体案作成に着手した

お天氣なら第三次春季競馬

待望の第三次春季競馬は愈々六日から開催されるが今回の登錄馬は春抽四十四頭、各抽七十一頭、古呼三十七頭、合計百五十二頭で新呼は全くなくたゞ春抽をめざして奉天から十五頭の進出が期待されてゐるが大體ファンのなじみ馬ばかりなので相變らず白熱化を豫想されてゐる

山田少佐榮轉

駐滿海軍部司令部副官山田少佐は今回佐世保防備隊附に榮轉八日午前七時發ひかりで赴任の豫定

一二

新京特別市公署總務處長の植田貫太郎氏ちよつと見ると鬚は無しいが栗頭で學生上りの腰辨のやうだがなか／＼卓拔な經綸も抱負もある

×

訥々として語る、その眞摯な態度は知らず／＼襟を正して傾聽させられる、殊に滿洲皇帝の乾德を讃へまつる時など感激に淚してゐる

×

こんな具合だから初めての謁見に際して賜つた蘭花御紋章入りの捲煙草を神棚に供へて朝夕敬虔な氣持で眺めてゐる

×

一本くれないかとせがまれても決して諾と云はない誰が何と云つても粗末にしてしまうのは勿体ないと斷はつてしまう

×

だが只一本だけ減つた、それは先づ第一に恩賜の光榮をお母さんにだけおすそ分けしたのださうでありますす植田さんの親孝行これまた有名なものである

訂正

五日附朝刊七面『寄附』中、（弘津快治氏は四日子息の忌明に際し）とあるは（甥飯田亨君の忌明）の誤通知なる旨訂正申込あり、右訂正す

出水の大馬路

昨日午後の豪雨で出水騷ぎの城內商店街、洪水宛らの濁流中を行くトラック、自動車、馬車等…

商店協會野球大會メンバー決る

けふ主將會議開く

商店協會野球部主催の商店軟式野球大會は七日午前八時から室町小學校グランドで花々しく擧行されるが參加十六チームのメンバーは左の如くである、同協會で大會を前にし六日午後三時から室町小學校で主將會議を開催する

パレス野球部　投手 山下、宮武　捕手 市川、永森　一壘手 福田　二壘手 木舟　三壘手 務基　遊擊手 刈田、坂井、角田　外野手 村上、小岩井、池田

三井俱樂部　主將 松本　投手 村上　捕手 加藤　一壘手 太田　二壘手 山本　三壘手 北島　遊擊手 須田　外野手 田口、五島、後藤、帖佐、有賀

長春座　投手 木村、西、谷崎　捕手 佐々木、西澤　一壘手 鹽澤　二壘手 大原　三壘手 谷川　遊擊手 樋口　外野手 北川、峯、佐藤　補缺 木谷

渡邊運動具店　監督 境　投手 齋藤　捕手 保田　一壘手 牧　二壘手 境　三壘手 米道　遊擊手 粟田　外野手 長谷部、森田、大戶　補缺 中尾、長谷部

帝都キネマ　監督 代田　投手 鈴木、喜多　捕手 金田、田中　一壘手 村井　二壘手 米田　三壘手 井上、稻葉　遊擊手 三島　左翼手 佐藤　中堅手 乾　右翼手 川、伊奈

アサヒ倶樂部　監督 板倉　投手 中川　捕手 田上　一壘手 吉澤　二壘手 岡本　三壘手 川涯　遊擊手 岡橋　外野手 吉田、金井、寺口　補缺 齊藤、岩崎

熊平商行（B組）　監督 入木　投手 島村　捕手 藤田　一壘手 森田　二壘手 松浦　三壘手 山本　遊擊手 香村　左翼手 生田　中堅手 楠田　右翼手 小泊　補缺 西村、平本、岩本

寶山洋行　主將 奥本　監督 國吉、武夫　投手 濱岡　捕手 清水　一壘手 小早川　二壘手 糸鮫　三壘手 樂尾　遊擊手 長妻　外野手 樋口、武田、山崎　補缺 長尾、森中、森、妹尾、森脇

雙發洋行　監督 新井　主將 谷　投手 田中　捕手 米中　一壘手 め屋　二壘手 石井　三壘手 早川　遊擊手 酒井　外野手 宮原、金川　補缺 遠藤、寺田、西本

三井倶樂部　投手 大谷　捕手 井口　一壘手 吉田　二壘手 杉田　三壘手 大草　遊擊手 山田（投）　外野手 入色、寺田（捕）、立園　補缺 飯田、金子、岩本、西田

熊本商行（A組）　監督 光田　投手 竹森、山下　捕手 櫻井　一壘手 谷崎　二壘手 福原　三壘手 田坂　遊擊手 八木　外野手 武本、伊藤、今本　補缺 國光、加藤

昌和洋行　監督 渡邊佳　投手 中田　捕手 村田　一壘手 千賀　二壘手 渡邊　三壘手 河野　遊擊手 吉田　左翼手 山本　中堅手 佐野　右翼手 井上　補缺 太田、岸本、西田、竹本

福昌公司　主將 投手 加藤　捕手 村井　一壘手 淺川　二壘手 金森　三壘手 吉井　遊擊手 鵜森　外野手 岡崎、高島、酒井、堀本、田代、小山、長谷川

大信洋行　投手 中山　捕手 村瀨、十河　一壘手 村上　二壘手 熊崎　三壘手 米原　遊擊手 押見、渡治　外野手 今田　補缺 小泉、中富、前川、井戶

內田洋行　投手 澤井　捕手 田中　一壘手 石田　二壘手 小泉　三壘手 石村　遊擊手 西　外野手 近藤、小林、谷口　補缺 本島、高倉、北島、花田

都デパート　投手 横內　捕手 岩見英　一壘手 村上　二壘手 岩見淸　三壘手 岩見健　遊擊手 李　外野手 森下、眞鍋、古谷　補缺 長谷川、細田

女人婆羅門

(映畫化上演)

長田秀雄　西正世志畫

(百八十三)

合職危機 (三)

お職は、遠塔四郎が鐵形赤七にさんざん油をしぼられた話を聞かされて、相手な職に眉を寄せた。

「なんてドヂなんだらうねえ……お前さんが大層大きな事を云つて出て行つたから、安心してたら、馬鹿々々しい、そんなにへこたれて歸つてくるなんて……」

「それがさ、何しろ相手が警察宿と來て居るし、……」

「たかゞ宿屋の亭主ぢやないかね……」

「さうツンケン云はねえでくれ……何と云つたつて、向ふの云ふ事に理があるんだから仕様がねえ」

「理があるつたつて、現在私の娘だらう、人の娘を匿まつて置くから、それを取戻しに行くのさ、よこさなければ首ツ玉へ繩でもつけて、ショビいて來りやアいいに」

遠塔は、佛頂面をして、

「それがよ、今云つた通り、相手は官軍の歩兵上りの、警察宿の亭主だ。ドスを振り廻したつて驚く様な奴ぢやねえ。どうして啖呵も達者だし……それに……」

「おどかされて、感心して歸つてくりやア世話アないやね。本當に遠塔さん、確乎してお呉れよ」

お職は文句たらたらで、不貞腐れたやうに、どろりと向ふむきに轉がつた。

遠塔は氣嫌を取るやうに、

「さうお前のやうに云つたつて仕様がねえ、またそのうちに、機會を見て、何とかすらアい、――さアこつちを向きねえ」

「いいよ――もう構はないよ。明日は私が乘出して談判するから……彼ら先方が警察風を吹かしても、自分の娘を親が取戻しに往くのに、不思議はないぢやないか、明日は私の供をしてお出でよ」

「お前が出掛けて行くのはいいが、粋なところから食らひ込みでもしたら合はねえぢやアねえか……一膳たてりやア、非番の巡査や探偵が明治館からドカドカと來やうツてんだ」

「巡査だらうが探偵だらうが、親が子を連れてくるのに不思議はないぢやないか。……まあお前も一杯おやり、――いまお職さんに行つてもらうが、鬼子母神境内の雀燒でも待つてくるから」

「さうかい、そいつア有難え……」

そのうちに近所の雀燒屋と肴屋から、雀燒と刺身がきた。稲垣夫婦もきて、酒を飲み交して居る十二時になつた。

「いい加減疲れたから、もう皆おひけとしやうか……」

遠塔の言葉に銘々寢所へ這入つたが、晝の疲勞で、遠塔は、すぐグウグウと鼾をかき始めた。だが暫らくすると何か唸り出して、やがて目をさました。腋の下と襟首は冷汗でびつしよりとなつてゐた。

「お前さん何うしたんだい」

「お前起きてゐたのか――俺ら嫌な夢を見たんだ」

「どんな夢?」

「うん、誰だか知らねえが突然俺らの横腹へグサつと竹槍を突き刺しやがつた……」

「そりや縁起のいい夢だよ――「金が入る」ツてね……斬られる夢はいいんだつてさ……」

「だが……刀なら成程金だが……俺のは竹槍だからな……」

「氣にしないで、寢たらどうだえ」

「うん……」

遠塔は、思ひ直して、横になつたが、暫らくすると、また、急に魘され始めた。

(うゝむ、うゝむ――)

だがお職は、今度はぐつすりと寢込んでゐた。

その時、表の戸をトントンと叩く者があつた。